

「2024年 学校現場の働き方改革に関する意識調査」

2024年7～9月実施

日本教職員組合

# 目 次

序 章 調査の実施概要.....	2
1 . 調査の目的.....	2
2 . 調査の実施方法.....	2
3 . 調査の実施時期.....	2
4 . 調査対象者と回答者数.....	2
5 . 調査対象者の構成.....	3
第1章 教員の労働時間の実態.....	8
1 . 教員の労働時間.....	8
2 . 1 週間の労働時間の推移.....	23
3 . 休憩時間の実態.....	29
4 . 持ち授業時数.....	30
5 . 授業準備時間.....	32
第2章 36協定の締結状況.....	35
1 . 36協定の締結状況.....	35
2 . 36協定締結の有無と4月の勤務時間.....	35
3 . 休憩時間の取得の有無.....	38
第3章 教職員の勤務の把握状況.....	39
1 . 管理職による教職員の勤務の把握状況.....	39
2 . 管理職が把握する勤務時間（在校等時間）.....	41
3 . 実際の勤務時間と管理職記録の勤務時間.....	42
第4章 学校における働き方改革の進捗状況.....	43
第5章 教員の部活動指導について.....	47
1 . 部活動指導員の配置状況（学校に部活動のある教職員）.....	47
2 . 休日の部活動の地域移行の進捗状況（学校に部活動のある教職員）.....	49
3 . 休日の部活動の地域移行への関わり方.....	50

## 序 章 調査の実施概要

### 1．調査の目的

本調査は、「学校現場の実態」として、社会に発信するとともに、中教審への意見反映、文科省や教育委員会との交渉・協議に活用し、「実感できる働き方改革」へとつなげることを目的に実施した。

本調査は2018年以降毎年実施しており、今回で第7回となる。

### 2．調査の実施方法

実施方法はこれまでと同様にWebでのみ行った。

### 3．調査の実施時期

今回の調査は7月12日～9月16日（Web調査票の公開期間）の約2ヶ月間実施した。また、集計表は10月に作成した。

2018年、2019年、2021年、そして今回の2024年調査は7～9月、2020年と2022年の調査は9月に実施している。結果をみるにあたり実施時期の違いに留意する必要がある。

### 4．調査対象者と回答者数

本調査の対象者は、全都道府県の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、小中一貫校、義務教育学校、中等教育学校における教職員で、正規教職員だけでなく、臨時的任用教職員（任期付含む）、会計年度任用教職員、再任用教職員も含む。

今回の調査では、11,844人から回答を得た。

## 5 . 調査対象者の構成

### ( 1 ) 性別構成と年齢構成

#### 性別構成

性別構成では、「男性」が 43.0%、「女性」が 55.3%で、2023 年(「男性」44.6%、「女性」54.1%) と大きな差はない(第 1 表)。

学校種別にみると、「男性」は高等学校(59.1%)と中学校(52.6%)で、「女性」は小学校(60.8%)と「特別支援学校」(58.7%)で、それぞれやや多い構成となっている。

また、部活動顧問別では、運動部顧問は「男性」(67.1%)、逆に、文化部顧問は「女性」(67.3%)が多くなっている。

#### 年齢構成

年齢構成をみると、「30代」(24.1%)、「40代」(25.4%)、「50代」(27.8%)がそれぞれ 2 割台を占めている。平均年齢は 43.5 歳で、2023 年(41.9 歳)より 1.6 歳高い。

性別にみると、男性が 42.7 歳、女性が 44.1 歳である。

学校種別では高等学校が 47.9 歳で最も高く、ついで特別支援学校の 47.2 歳となっている。小学校と中学校はそれぞれ 42.5 歳、44.0 歳である。

第 1 表 性別構成と年齢構成

	性別構成				年齢構成							件数	
	男性	女性	どちらでもない	答えたくない	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	中央値・歳		平均値・歳
2024年計	43.0	55.3	0.2	1.5	15.0	24.1	25.4	27.8	7.6	44.3	43.5	11844	
(2023年計)	44.6	54.1	0.2	1.1	16.1	28.5	26.7	24.8	3.9	42.0	41.9	5809	
(2022年計)	44.0	54.7	0.2	1.1	19.1	26.3	24.6	25.6	4.4	41.8	41.7	9702	
(2021年計)	46.0	52.8	0.2	1.0	15.9	24.1	26.9	29.5	3.5	43.7	42.8	7014	
(2020年計)	53.3	45.7		0.9	11.2	24.0	30.1	30.9	3.9	44.9	44.0	3990	
(2019年計)	46.5	53.5			20.5	26.6	26.2	24.6	2.1	40.5	41.3	9080	
(2018年計)	44.0	56.0			18.7	23.1	28.0	28.1	2.1	43.5	42.4	11125	
性別	男性	...	...	...	15.1	30.2	22.7	22.4	9.5	42.0	42.7	5091	
	女性	...	100.0	...	...	15.1	19.5	27.3	31.8	6.2	45.6	44.1	6545
学校種別	小学校	37.5	60.8	0.2	1.5	16.5	25.7	26.3	25.8	5.7	43.0	42.5	7321
	中学校	52.6	45.9	0.2	1.3	14.2	24.6	23.3	29.8	8.1	44.8	44.0	2746
	高等学校	59.1	38.5	0.3	2.1	9.8	17.4	20.5	33.1	19.2	50.7	47.9	1062
	特別支援学校	38.7	58.7	0.2	2.5	8.4	15.5	28.4	38.0	9.6	49.2	47.2	489
部活動の顧問別	運動部の顧問	67.1	31.5	0.2	1.3	15.3	25.3	23.8	26.3	9.2	43.9	43.5	2550
	文化部の顧問	29.6	67.3	0.3	2.8	9.6	16.8	24.7	35.9	13.0	49.5	47.2	980
	顧問はしていない	38.7	59.8	0.2	1.2	13.0	24.0	26.6	28.9	7.6	44.9	44.1	2525
	学校に部活動は設定されていない	36.5	61.7	0.2	1.6	16.7	24.9	25.6	26.7	6.0	43.2	42.7	5789

( 2 ) 勤務先の学校種、勤務先の行政区分

勤務先の学校種

「小学校」61.8%、「中学校」23.2%、「高等学校」9.0%、「特別支援学校」4.1%である。  
 「幼稚園」、「小中一貫校」、「義務教育学校」、「中等教育学校」はいずれも1%未満である。  
 性別では、男女とも最も多いのは「小学校」で、女性では7割近くを占める。「中学校」と「高等学校」では男性の比率がやや多い。

勤務先の行政区分

「市町村立」(85.7%)が多く、「都道府県立」は14.0%である。  
 学校種別にみると、小学校と中学校は「市町村立」、高等学校は「都道府県立」が多数を占めている(第2表)。

第2表 勤務先の学校種と行政区分

	勤務先の学校種									勤務先の行政区分				件数	
	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	小中一貫校	義務教育学校	中等教育学校	その他	市町村立	都道府県立	私立	独立行政法人(大)		
2024年計	0.5	61.8	23.2	9.0	4.1	0.4	0.8	0.1	0.1	85.7	14.0	0.1	0.3	11844	
(2023年計)	0.3	65.7	23.3	6.1	2.9	0.2	1.3	0.1	0.1	90.2	8.9	0.1	0.9	5809	
(2022年計)	0.5	63.7	23.8	7.8	3.1	0.2	0.7	0.0	0.1	87.7	12.3	...	...	9702	
(2021年計)	0.3	65.5	24.9	5.0	3.2	0.2	0.7	0.0	0.1	90.8	9.2	...	0.0	7014	
(2020年計)	0.3	54.9	26.0	13.5	4.7				0.6					3990	
(2019年計)	0.2	65.9	24.0	7.1	2.4				0.4					9080	
(2018年計)	0.2	64.3	26.4	6.0	2.7				0.4					11125	
性別	男性	0.1	54.0	28.4	12.3	3.7	0.4	0.9	0.1	82.9	16.7	0.1	0.3	5091	
	女性	0.9	68.0	19.3	6.2	4.4	0.4	0.8	0.1	88.1	11.7	0.0	0.2	6545	
学校種別	小学校	...	100.0	...	...	...	...	...	...	97.6	2.4	0.0	0.1	7321	
	中学校	...	...	100.0	...	...	...	...	...	97.5	2.4	0.0	0.1	2746	
	高等学校	...	...	...	100.0	...	...	...	...	2.4	97.0	0.7	...	1062	
	特別支援学校	...	...	...	...	100.0	...	...	...	18.2	77.1	...	4.7	489	
部活動の顧問別	運動部の顧問	...	3.0	68.1	24.9	1.8	0.5	1.4	0.2	0.0	71.6	28.2	0.2	0.1	2550
	文化部の顧問	...	10.6	49.0	35.7	2.7	0.5	1.1	0.4	...	61.5	38.2	0.2	0.1	980
	顧問はしていない	0.2	65.7	20.0	2.9	8.0	1.0	1.8	0.0	0.2	87.6	12.0	0.1	0.2	2525
	学校に部活動は設定されていない	0.9	94.7	0.4	0.1	3.7	0.1	0.2	...	0.0	95.2	4.5	0.0	0.4	5789

(3) 勤務先の教員・職員、採用形態

教員・職員構成

「教員(教諭・講師)」が86.2%、他職種は1割未満となっている(「事務職員」5.6%、「養護教員」5.4%、「栄養教員」1.2%、「実習教員」0.5%、「寄宿舍教員」0.3%、「現業職員」0.2%、「学校司書」0.2%、「学校栄養職員」0.1%)。

採用形態

「正規教職員」92.0%、「臨時的任用教職員」4.3%、「再任用教職員」3.1%、「会計年度任用教職員」0.5%となっている。

教員・職員、採用形態の構成は、2018年以降変化はみられない(第3表)。

第3表 勤務先の教員・職員、採用形態

	教員・職員										採用形態				件数	
	教員	養護教員	栄養教員	学校栄養職員	事務職員	現業職員	実習教員	寄宿舍教員	学校司書	その他	正規教職員	臨時的任用教職員	会計年度任用教職員	再任用教職員		
2024年計	86.2	5.4	1.2	0.1	5.6	0.2	0.5	0.3	0.2	0.3	92.0	4.3	0.5	3.1	11844	
(2023年計)	88.2	5.3	1.1	0.1	4.4	0.2	0.4	0.1	0.1	0.2	94.0	3.2	0.2	2.6	5809	
(2022年計)	86.5	5.2	1.2	0.3	5.6	0.2	0.5	0.1	0.1	0.3	93.5	3.6	0.2	2.6	9702	
(2021年計)	85.0	4.4	1.7	0.2	7.4	0.1	0.4	0.3	0.1	0.4	94.6	2.8	0.3	2.3	7014	
(2020年計)	82.2	5.2	1.3		9.8	0.1	0.8	0.4		0.4	94.2	2.7	0.8	2.2	3990	
(2019年計)	87.7	5.2	0.9		5.0	0.1	0.3	0.1		0.6	91.9	6.4	0.4	1.2	9080	
(2018年計)	87.1	5.3	1.0		5.5	0.1	0.3	0.3		0.4	93.7	4.8	0.4	1.0	11125	
性別	男性	92.3	0.1	0.1	0.0	5.9	0.3	0.5	0.4	0.1	90.6	4.5	0.4	4.4	5091	
	女性	81.3	9.6	2.1	0.2	5.4	0.0	0.4	0.3	0.2	93.1	4.2	0.6	2.1	6545	
学校種別	小学校	87.1	5.6	1.4	0.2	5.6	0.0	...	...	0.0	93.7	3.8	0.4	2.1	7321	
	中学校	84.1	6.2	1.1	0.1	8.0	...	0.0	...	0.0	92.1	4.2	0.4	3.3	2746	
	高等学校	89.0	3.0	...	...	0.8	0.9	4.4	...	1.5	0.3	82.0	6.8	1.5	9.6	1062
	特別支援学校	82.8	3.1	1.2	0.2	0.4	1.4	1.8	8.2	...	0.8	88.5	8.4	0.2	2.7	489
部活動の顧問別	運動部の顧問	96.5	1.7	0.2	...	0.2	...	0.9	...	...	90.6	4.9	0.2	4.3	2550	
	文化部の顧問	91.9	4.3	0.6	...	0.1	...	2.8	...	0.1	89.3	4.8	0.2	5.7	980	
	顧問はしていない	66.9	9.9	3.1	0.4	16.4	0.5	0.2	1.3	0.7	90.4	5.2	1.3	3.0	2525	
	学校に部活動は設定されていない	89.2	5.2	1.0	0.1	4.1	0.1	0.0	0.1	...	0.2	93.8	3.6	0.3	2.1	5789

(4) 学級担任(教員)

「担任をしている」72.2%、「担任をしていない」27.8%である。

性別では、「担任をしている」女性は76.4%、男性67.9%となっている。

学校種別では、「担任をしている」は小学校83.4%、特別支援学校60.7%、中学校57.1%で、高等学校では40.0%となっている。

採用形態別では、「担任をしている」は正規教職員73.8%、臨時的任用教職員63.8%、再任用教職員44.2%である(第4表)。

第4表 学級担任(教員)

		担任をしている	担任をしていない	件数
2024年計		72.2	27.8	10212
(2023年計)		72.1	27.9	5123
(2022年計)		74.0	26.0	8392
(2021年計)		71.5	28.5	5964
(2020年計)		63.0	37.0	3278
(2019年計)		72.5	27.5	7966
(2018年計)		74.3	25.7	9693
性別	男性	67.9	32.1	4700
	女性	76.4	23.6	5324
学校種別	小学校	83.4	16.6	6373
	中学校	57.1	42.9	2310
	高等学校	40.0	60.0	945
	特別支援学校	60.7	39.3	405
部活動の顧問別	運動部の顧問	56.3	43.7	2461
	文化部の顧問	50.4	49.6	901
	顧問はしていない	74.1	25.9	1689
	学校に部活動は設定されていない	83.0	17.0	5161
採用形態別	正規教職員	73.8	26.2	9436
	臨時的任用教職員	63.8	36.2	412
	会計年度任用教職員	19.5	80.5	41
	再任用教職員	44.2	55.8	321

(5) 部活動の顧問

「学校に部活動は設定されていない」は 48.9%で、約半数は学校に部活動が設定された学校に勤務している。

＜顧問をしている＞教職員の割合は 29.8%で、内訳は「運動部の顧問」21.5%、「文化部の顧問」8.3%、「顧問はしていない」21.3%である。

こうした傾向は 2021 年以降共通している。

この結果を部活動が設置されている学校(51.1%)に限定して再集計してみると、教職員の6割近くが顧問をしている結果となっている(29.8%÷51.1%=58.3%)。

性別で見ると、＜顧問をしている＞教職員は男性 39.3%、女性 22.4%となっている。また、男性の＜顧問をしている＞では「文化部の顧問」5.7%、「運動部の顧問」33.6%となっている。女性で＜顧問をしている＞では「運動部の顧問」12.3%、「文化部の顧問」10.1%となっている。

学校種別にみると、＜顧問をしている＞教職員は高等学校 92.7%、中学校 80.7%となっている。

採用形態別では、＜顧問をしている＞教職員は正規教職員 29.2%、臨時的任用教職員 33.4%、再任用教職員 45.5%となっている(第5表)。

第5表 部活動の顧問

	運動部の顧問	文化部の顧問	顧問はしていない	学校に部活動は設定されていない	*顧問をしている	件数
2024年計	21.5	8.3	21.3	48.9	29.8	11844
(2023年計)	21.6	7.6	20.2	50.5	29.2	5809
(2022年計)	22.6	7.7	21.6	48.1	30.3	9702
(2021年計)	22.1	6.3	24.3	47.4	28.3	7014
(2020年計)	29.1	8.2	22.6	40.1	37.3	3990
(2019年計)	23.4	7.3	16.2	53.0	30.7	9080
(2018年計)	26.8	8.7	17.2	47.2	35.6	11125
性別						
男性	33.6	5.7	19.2	41.5	39.3	5091
女性	12.3	10.1	23.1	54.5	22.4	6545
学校種別						
小学校	1.1	1.4	22.7	74.9	2.5	7321
中学校	63.3	17.5	18.4	0.9	80.7	2746
高等学校	59.7	33.0	7.0	0.4	92.7	1062
特別支援学校	9.4	5.3	41.5	43.8	14.7	489
採用形態別						
正規教職員	21.2	8.0	20.9	49.8	29.2	10897
臨時的任用教職員	24.3	9.1	25.6	41.0	33.4	515
会計年度任用教職員	7.0	3.5	56.1	33.3	10.5	57
再任用教職員	30.1	15.3	20.5	34.0	45.5	365



## 第 1 章 教員の労働時間の実態

本章では、教員の労働時間を 2024 年の 1 学期における通常の 1 週間を対象に、在校等時間と、持ち帰り業務といえる自宅での仕事時間を、勤務日（月～金）と週休日（土・日）のそれぞれについて質問した。

### 1. 教員の労働時間

#### (1) 勤務日における 1 日の労働時間

##### 在校等時間

- ・ ほぼ全教員が時間外労働に従事、4 時間以上時間外労働は 2023 年比で半減
- ・ 在校等時間は 10 時間 23 分で、2023 年（10 時間 40 分）から 17 分短縮
- ・ 時間外労働の平均は 2 時間 23 分（所定労働時間比）
- ・ 在校等時間が長いのは中学校（平均 10 時間 48 分）と運動部顧問（10 時間 41 分）

教員について勤務日（月曜日から金曜日）における休憩時間を除いた在校等時間を 1 日平均でみると、法定労働時間の範囲である「8 時間未満」は 4.5%にとどまり、95.5%が時間外労働をしている実態となっている。1 日 4 時間以上の時間外労働にあたる <12 時間以上>勤務する人は 15.3%で、2023 年（31.3%）からは半減している（第 1 - 1 表）

平均の在校等時間は 10 時間 23 分で、1 日の所定労働時間（7 時 45 分）及び法定労働時間（8 時間）と比べると、所定労働時間を 2 時間 38 分、法定労働時間を 2 時間 23 分上回る。これを月 20 日で換算すると、月 45 時間の上限を超える実態となっている。

第 1 - 1 表 教員の勤務日（月～金）における在校等時間（1 日平均）

	8 時間未満	8 時間以上	9 時間以上	10 時間以上	11 時間以上	12 時間以上	13 時間以上	14 時間以上	15 時間以上	件数	* 人の比率 時間外労働をした	* 1 人の比率 12 時間以上勤務	平均値・時間・分
2024年計	4.5	10.5	21.8	27.0	20.9	10.9	3.1	1.1	0.3	9685	95.5	15.3	10:23
(2023年計)	2.2	5.5	12.1	24.8	24.1	20.6	7.5	2.5	0.7	4886	97.8	31.3	10:40
(2022年計)	3.2	8.4	20.0	26.3	23.2	13.7	3.6	1.3	0.4	7823	96.8	18.9	10:35
(2021年計)	4.0	8.3	18.3	25.1	24.1	13.6	4.7	1.5	0.4	5446	96.0	20.1	10:39
(2020年計)	4.4	8.8	17.0	24.8	20.3	17.0	4.6	2.1	1.0	2940	95.6	24.8	10:27
(2019年計)	2.7	5.6	11.8	23.3	18.7	22.6	10.3	3.9	1.1	7629	97.3	37.8	10:59
(2018年計)	2.5	4.9	10.8	22.4	19.9	22.4	10.2	4.9	2.0	9410	97.5	39.5	11:07

在校等時間（10時間23分）は、2023年（10時間40分）から17分短くなり最も長かった2018年（11時間7分）から44分短くなっている。

全学校種で、時間外労働を行っている人は9割以上となっている。

<12時間以上>では、中学校25.2%、小学校13.9%となっている（第1-2表）。

平均在校等時間では、小学校10時間22分、中学校10時間48分、高等学校9時間48分、特別支援学校9時間34分となっている。

第1-2表 教員の勤務日（月～金）における在校等時間（1日平均）

		8時間未満	8時間以上	9時間以上	10時間以上	11時間以上	12時間以上	13時間以上	14時間以上	15時間以上	件数	*時間外労働をした人の比率	*12時間以上勤務した人の比率	平均値・時間・分
2024年計		4.5	10.5	21.8	27.0	20.9	10.9	3.1	1.1	0.3	9685	95.5	15.3	10:23
学校種別	小学校	4.0	9.9	22.0	29.0	21.3	10.0	2.7	0.8	0.3	5979	96.0	13.9	10:22
	中学校	3.6	7.3	15.3	24.5	24.1	17.2	5.3	2.1	0.5	2238	96.4	25.2	10:48
	高等学校	8.7	17.1	29.2	22.3	16.9	4.2	0.9	0.6	0.1	887	91.3	5.7	9:48
	特別支援学校	8.6	21.0	33.7	24.0	9.0	2.7	1.0	...	...	409	91.4	3.7	9:34
部活動の顧問別	運動部の顧問	3.6	8.7	18.6	24.0	23.2	14.8	4.6	2.0	0.5	2282	96.4	21.8	10:41
	文化部の顧問	4.9	9.7	22.0	22.2	22.4	13.5	3.7	1.3	0.4	838	95.1	18.9	10:30
	顧問はしていない	7.0	14.5	23.6	27.6	16.5	7.6	2.0	0.8	0.5	1731	93.0	10.8	10:03
	学校に部活動は設定されていない	4.0	10.0	22.6	29.1	21.1	9.8	2.6	0.7	0.2	4834	96.0	13.3	10:21

2023年との比較では、小学校で（10時間37分 10時間22分）15分短縮、中学校で（11時間3分 10時間48分）15分短縮、特別支援学校で（10時間10分 9時間34分）36分短縮している。高等学校では（9時間45分 9時間48分）3分長くなっている。（第1-3表）

在校等時間<12時間以上>の比率では、運動部顧問21.8%、文化部顧問18.9%、顧問をしていない教員10.8%、学校に部活動のない教員13.3%で、在校等時間の平均では、運動部顧問10時間41分、文化部顧問10時間30分、顧問をしていない教職員10時間3分、となっている。

2023年との比較では、運動部の顧問が（10時間59分 10時間41分）18分短縮、文化部顧問が（10時間37分 10時間30分）7分短縮となっている。

第1-3表 教員の勤務日（月～金）における在校等時間（1日平均 時間：分）

	2024年計			2023年計		2022年計		2021年計		2020年計		2019年計		2018年計		
	人* の時間 比率	した1 人の 時間 比率	平均 値・ 時間 ・分	した1 人の 時間 比率	平均 値・ 時間 ・分	した1 人の 時間 比率	平均 値・ 時間 ・分	した1 人の 時間 比率	平均 値・ 時間 ・分	した1 人の 時間 比率	平均 値・ 時間 ・分	した1 人の 時間 比率	平均 値・ 時間 ・分	した1 人の 時間 比率	平均 値・ 時間 ・分	
教員計	95.5	15.3	10:23	31.3	10:40	18.9	10:35	20.1	10:39	24.8	10:27	37.8	10:59	39.5	11:07	
学校 種別	小学校	96.0	13.9	10:22	20.2	10:37	16.5	10:31	16.7	10:32	24.1	10:28	36.5	10:56	37.7	11:02
	中学校	96.4	25.2	10:48	32.1	11:03	31.9	11:06	34.7	11:14	37.4	10:57	51.5	11:30	53.1	11:39
	高等学校	91.3	5.7	9:48	5.8	9:45	6.1	9:44	4.9	9:58	14.5	9:59	15.3	10:04	16.3	10:14
	特別支援学校	91.4	3.7	9:34	10.6	10:10	3.8	9:52	3.6	9:38	2.8	9:25	11.2	9:55	5.0	9:42
部 活 動 の 顧 問 別	運動部の顧問	96.4	21.8	10:41	30.4	10:59	29.3	10:57	33.0	11:12	34.5	10:50	49.1	11:23	52.7	11:37
	文化部の顧問	95.1	18.9	10:30	20.4	10:37	17.7	10:27	22.8	10:41	23.9	10:29	33.3	10:52	41.4	11:11
	顧問はしていない	93.0	10.8	10:03	17.9	10:24	15.5	10:23	14.9	10:20	21.4	10:11	30.9	10:39	30.4	10:38
	学校に部活動は設定されていない	96.0	13.3	10:21	19.6	10:37	15.2	10:29	15.2	10:29	18.5	10:16	34.9	10:53	33.9	10:56

## 自宅での仕事時間

- ・勤務日に自宅で仕事する人が3分の2、  
平均仕事時間は43分で2021年以降大きな変化は見られない
- ・在校等時間と自宅仕事時間とを合わせた勤務日の1日の平均労働時間は11時間6分、  
2023年から18分減少

勤務日(月曜日から金曜日)における自宅での仕事時間を1日平均で見ると、自宅で仕事をしない「0時間」37.2%、2021年(35.8%)以降、同程度で推移している(第1-4表)。

勤務日に自宅で仕事をする人は62.8%で、3分の2の人が持ち帰り業務をしている実態となっている。2018年以降6割台で推移している。

自宅での仕事時間の分布では、「1時間以上(2時間未満)」29.2%、「1時間未満」21.3%、「2時間以上(3時間未満)」9.4%、それより長い自宅仕事時間は少数である。

この結果、自宅での仕事時間は平均43分で、2018年(51分)より8分短いものの、2021年(45分)以降ほとんど変化がない。

自宅での仕事時間(43分)と在校等時間(10時間23分)を合わせると、勤務日における教員の労働時間数は11時間6分となっている。2023年(11時間24分)と比べると、18分減少している。最も長かった2018年(11時間58分)から52分短縮している。

結果、勤務日の労働時間は11時間を上回る時間数となっている。

第1-4表 教員の勤務日(月~金)における自宅での仕事時間  
(1日平均)

	0時間	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上	4時間以上	件数	た*人の比率 自 宅 で 仕 事 を 行 っ た	平均値・時間・分
2024年計	37.2	21.3	29.2	9.4	1.8	1.2	9685	62.8	0:43
(2023年計)	36.3	21.2	29.7	9.8	2.0	1.0	4886	63.7	0:44
(2022年計)	36.1	20.4	30.3	9.8	2.2	1.2	7823	63.9	0:45
(2021年計)	35.8	20.2	30.8	10.0	2.1	1.2	5446	64.2	0:45
(2020年計)	39.4	20.3	28.5	8.6	2.1	1.2	2940	60.6	0:42
(2019年計)	32.5	18.5	32.3	12.7	2.8	1.1	7629	67.5	0:51
(2018年計)	31.6	19.8	32.6	12.0	2.7	1.3	9410	68.4	0:51

学校種別にみると、＜自宅  
で仕事を行った人＞小学校  
66.1%、中学校 59.1%、高等  
学校 54.0%、特別支援学校  
51.1%となっている。全校種  
で半数以上の人が自宅での  
仕事をしている実態となっ  
ている（第1-5表）。

平均仕事時間数では、小学  
校 45 分、中学校 41 分、高等  
学校 38 分、特別支援学校 34  
分となっている。2023 年と  
比較すると数分程度の増減  
となっている（第1-6表）。

なお、勤務日に自宅で仕事をしている人の割合では部活動の顧問別の違いはみられず、平  
均仕事時間は 40 分台で違いがない。

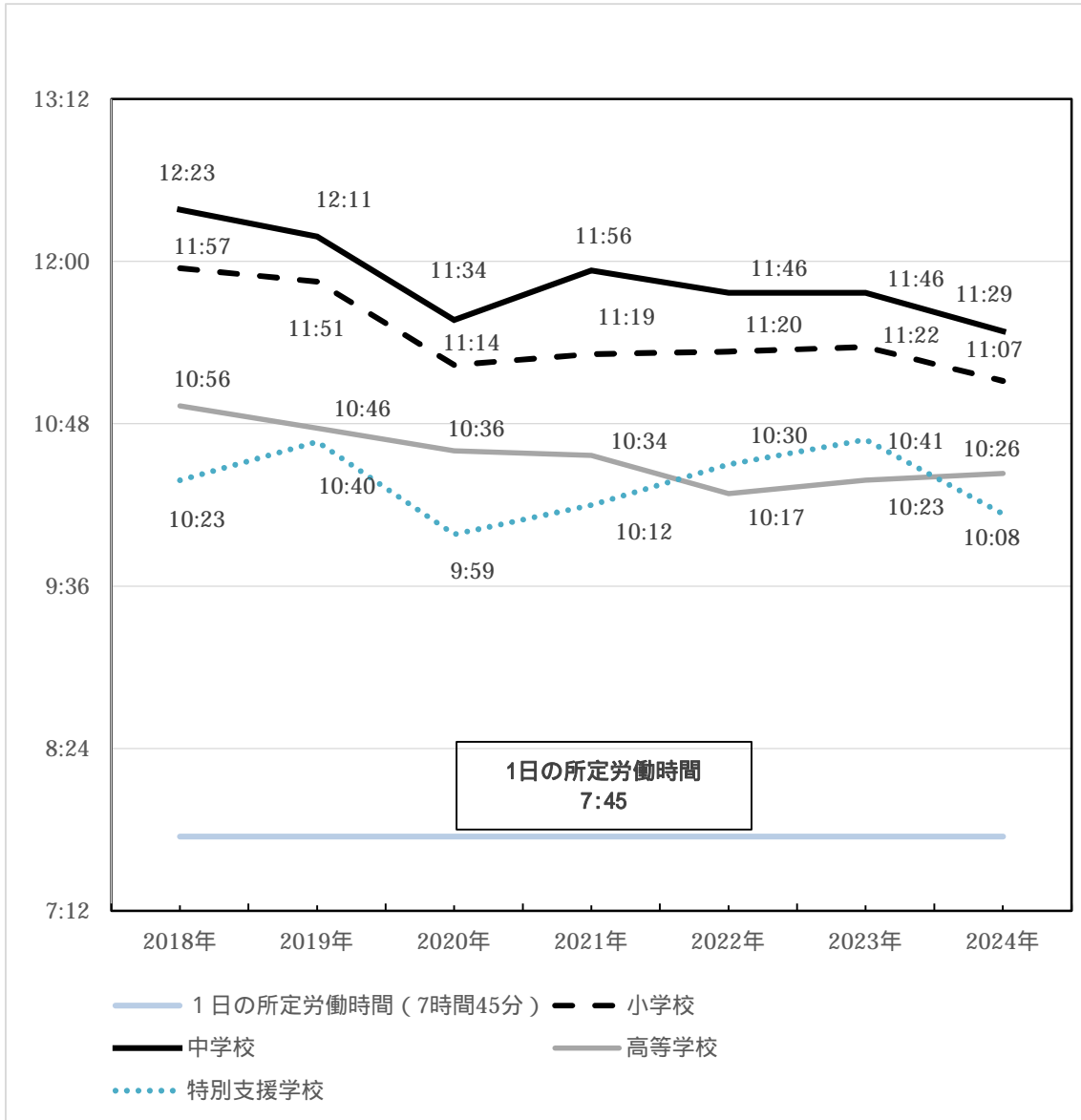
第1-5表 教員の勤務日（月～金）における自宅での仕事時間  
（1日平均）

		0 時間	1 時 間 未 満	1 時 間 以 上	2 時 間 以 上	3 時 間 以 上	4 時 間 以 上	件 数	た* 自 宅 で 仕 事 を 行 っ た 人 の 比 率	平 均 値 ・ 時 間 ・ 分
2024年計		37.2	21.3	29.2	9.4	1.8	1.2	9685	62.8	0:43
学 校 種 別	小学校	33.9	22.8	30.6	9.6	1.8	1.3	5979	66.1	0:45
	中学校	40.9	18.0	28.6	9.7	1.9	1.0	2238	59.1	0:41
	高等学校	46.0	19.2	23.8	8.0	1.6	1.5	887	54.0	0:38
	特別支援学校	48.9	21.5	21.0	5.6	1.2	1.7	409	51.1	0:34
部 活 動 の 顧 問 別	運動部の顧問	41.3	18.5	27.4	9.8	1.9	1.1	2282	58.7	0:41
	文化部の顧問	40.2	21.2	26.3	9.1	1.7	1.6	838	59.8	0:42
	顧問はしていない	39.7	19.2	29.7	7.9	2.3	1.2	1731	60.3	0:42
	学校に部活動は設定されていない	33.8	23.3	30.4	9.7	1.6	1.3	4834	66.2	0:45

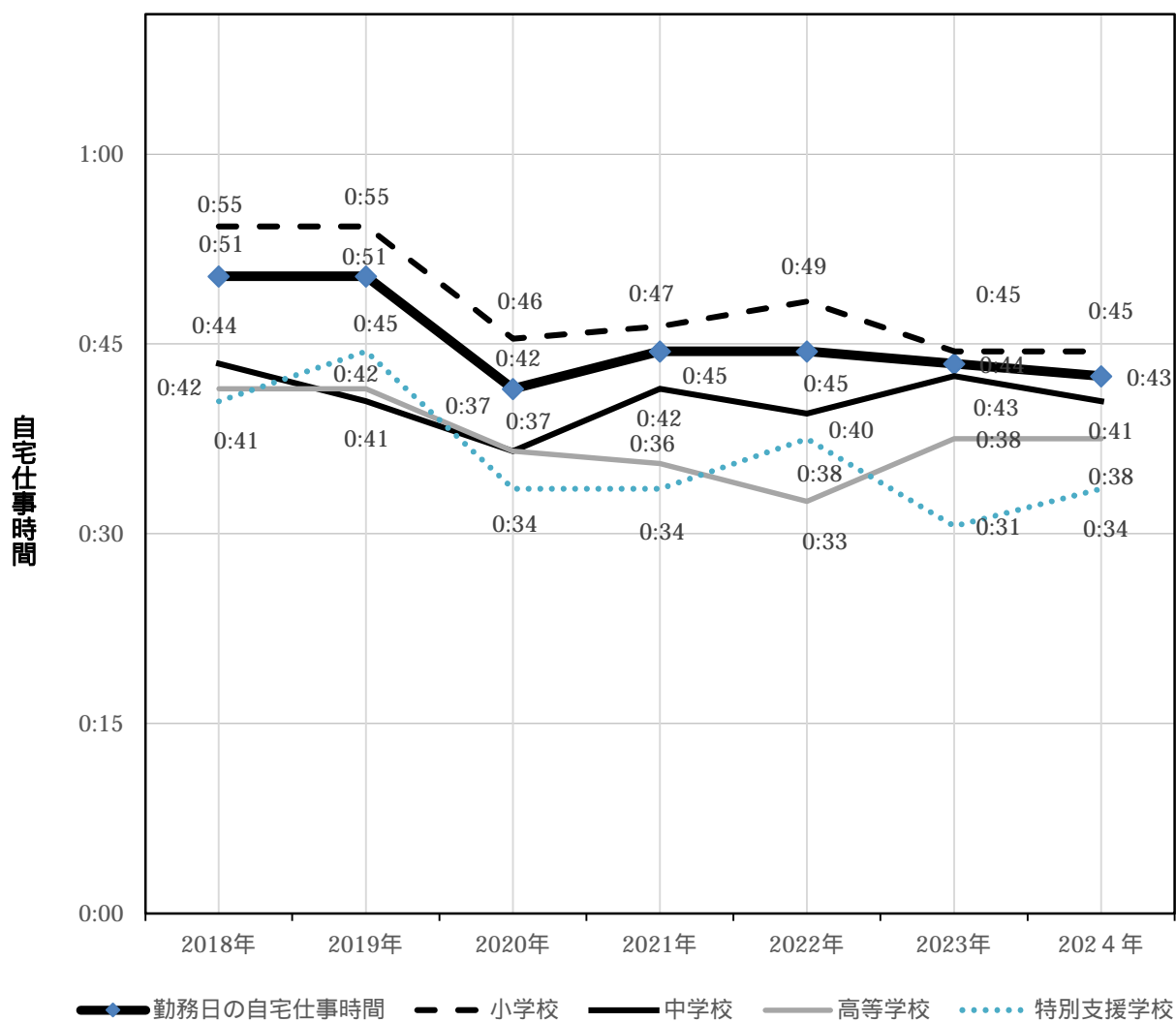
第1-6表 教員の勤務日（月～金）における自宅での仕事時間（1日平均 時間・分）

		2024年計		2023年計		2022年計		2021年計		2020年計		2019年計		2018年計	
		た* 自 宅 で 仕 事 を 行 っ た 人 の 比 率	平 均 値 ・ 時 間 ・ 分	た* 自 宅 で 仕 事 を 行 っ た 人 の 比 率	平 均 値 ・ 時 間 ・ 分	た* 自 宅 で 仕 事 を 行 っ た 人 の 比 率	平 均 値 ・ 時 間 ・ 分	た* 自 宅 で 仕 事 を 行 っ た 人 の 比 率	平 均 値 ・ 時 間 ・ 分	た* 自 宅 で 仕 事 を 行 っ た 人 の 比 率	平 均 値 ・ 時 間 ・ 分	た* 自 宅 で 仕 事 を 行 っ た 人 の 比 率	平 均 値 ・ 時 間 ・ 分	た* 自 宅 で 仕 事 を 行 っ た 人 の 比 率	平 均 値 ・ 時 間 ・ 分
教員計		62.8	0:43	63.7	0:44	63.9	0:45	64.2	0:45	60.6	0:42	67.5	0:51	68.4	0:51
学 校 種 別	小学校	66.1	0:45	66.8	0:45	67.8	0:49	67.3	0:47	66.7	0:46	72.8	0:55	72.6	0:55
	中学校	59.1	0:41	59.2	0:43	57.5	0:40	58.3	0:42	53.4	0:37	58.1	0:41	61.9	0:44
	高等学校	54.0	0:38	56.1	0:38	53.0	0:33	54.5	0:36	52.6	0:37	54.0	0:42	58.4	0:42
	特別支援学校	51.1	0:34	52.1	0:31	59.2	0:38	60.8	0:34	53.1	0:34	56.9	0:45	60.2	0:41
部 活 動 の 顧 問 別	運動部の顧問	58.7	0:41	57.9	0:42	57.5	0:39	59.0	0:42	53.7	0:37	59.5	0:43	62.5	0:46
	文化部の顧問	59.8	0:42	65.6	0:46	58.5	0:42	63.2	0:43	59.2	0:45	61.5	0:47	67.6	0:49
	顧問はしていない	60.3	0:42	62.0	0:44	62.9	0:47	63.1	0:46	58.3	0:40	68.0	0:53	67.4	0:50
	学校に部活動は設定されていない	66.2	0:45	66.6	0:45	68.5	0:48	67.6	0:46	67.5	0:46	71.9	0:54	72.5	0:54

資料図1 学校種別にみた教員の勤務日（月～金）における労働時間（1日平均 時間：分）  
 （在校等時間と自宅仕事時間の小計）



資料図2 学校種別にみた教員の勤務日（月～金）における自宅仕事時間（1日平均 時間：分）



( 2 ) 週休日における 1 日平均の労働時間

在校等時間

- ・ 週休日に出勤する人が 45.4% で 2023 年 ( 50.9% ) からやや減少  
校種では中学校 ( 77.8% ) が、部活動顧問では運動部顧問 ( 83.9% ) が多い
- ・ 在校等時間 ( 1 時間 31 分 ) は 11 分減

週休日 ( 土曜日、日曜日 ) における在校等時間をみると ( 1 日平均 ) 「 0 時間 」 54.6%、  
< 週休日に出勤した > 人が 45.4% となっている ( 第 1 - 7 表 )。

< 週休日に出勤した > 人は 2021 年以降、5 割前後で推移していたが、今回はやや減少が  
みられ、2018 年 ( 61.5% ) 以降で最も少なくなっている。

1 日の在校等時間の平均は 1 時間 31 分で、2018 年 ( 2 時間 10 分 ) と比べ 39 分短く、  
2023 年 ( 1 時間 42 分 ) との比較では 11 分減少している。

勤務日、週休日 ( 土曜日、日曜日 ) とともに在校等時間は減少する結果となっている。

第 1 - 7 表 教員の週休日 ( 土・日 ) における在校等時間 ( 1 日平均 )

	0 時間	1 時間未満	1 時間以上	2 時間以上	3 時間以上	4 時間以上	5 時間以上	6 時間以上	7 時間以上	8 時間以上	件数	務*週休日 した休日に の比率に 学校で 勤	平均値・ 時間・分
2024年計	54.6	3.2	6.2	7.4	8.4	10.1	5.1	2.3	0.8	1.8	9685	45.4	1:31
( 2023年計 )	49.1	3.5	6.9	8.5	9.2	11.1	6.1	3.1	0.6	2.0	4886	50.9	1:42
( 2022年計 )	50.9	3.1	6.4	8.4	8.4	11.0	5.7	3.2	0.7	2.0	7823	49.1	1:40
( 2021年計 )	48.2	3.0	7.4	10.1	9.9	10.5	5.8	2.7	0.8	1.6	5446	51.8	1:41
( 2020年計 )	47.1	3.0	6.6	10.1	10.2	11.9	6.1	2.4	0.6	2.1	2940	52.9	1:46
( 2019年計 )	43.3	3.4	7.1	10.6	9.4	12.3	5.7	4.2	0.8	3.2	7629	56.7	1:58
( 2018年計 )	38.5	4.2	7.9	10.3	9.2	13.0	7.5	4.9	1.1	3.5	9410	61.5	2:10





2023年との比較では、中学校で(3時間21分 3時間6分)15分短縮、小学校で(1時間5分 48分)17分短縮、高等学校で(2時間23分 2時間48分)25分長くなっている(第1-9表)。

部活動の顧問別では、<週休日に出勤した>人は、運動部顧問83.9%、文化部顧問58.5%となっており。2018年以降、共通している。

平均在校等時間では、運動部顧問3時間25分で2023年(3時間33分)から8分短縮し、文化部顧問は2時間16分で、2023年(2時間4分)から12分短縮となった。

顧問をしていない教職員や学校に部活動のない教職員では、週休日に出勤している人は3割程度であり、在校等時間は顧問をしていない教員44分、学校に部活動のない教員46分となっている。

結果からは、部活動顧問の週休日の在校等時間の短縮には、週休日の部活動のさらに見直しが必要といえる。

第1-9表 教員の週休日(土・日)における在校等時間(1日平均 時間:分)

	2024年計		2023年計		2022年計		2021年計		2020年計		2019年計		2018年計		
	務*週した休日にの比率で勤	平均値・時間・分	務*週した休日にの比率で勤	平均値・時間・分	務*週した休日にの比率で勤	平均値・時間・分	務*週した休日にの比率で勤	平均値・時間・分	務*週した休日にの比率で勤	平均値・時間・分	務*週した休日にの比率で勤	平均値・時間・分	務*週した休日にの比率で勤	平均値・時間・分	
教員計	45.4	1:31	50.9	1:42	49.1	1:40	51.8	1:41	52.9	1:46	56.7	1:58	61.5	2:10	
学校種別	小学校	31.8	0:48	39.8	1:05	35.2	0:55	39.5	1:00	40.2	1:02	46.2	1:15	51.7	1:25
	中学校	77.8	3:06	82.0	3:21	84.9	3:35	84.9	3:27	83.3	3:08	85.4	3:45	86.3	3:57
	高等学校	67.8	2:48	63.1	2:23	64.8	2:31	65.0	2:19	65.9	2:43	70.7	3:01	72.7	3:02
	特別支援学校	19.6	0:27	21.8	0:34	18.9	0:26	21.7	0:33	4.8	0:06	20.7	0:36	22.0	0:26
部活動の顧問別	運動部の顧問	83.9	3:25	87.0	3:33	88.3	3:42	87.1	3:30	83.6	3:18	89.8	3:57	87.9	3:57
	文化部の顧問	58.5	2:16	56.5	2:04	59.9	2:16	63.5	2:12	59.9	2:03	60.5	2:21	66.6	2:33
	顧問はしていない	29.9	0:44	38.4	1:03	33.0	0:51	39.7	1:02	31.6	0:49	40.4	1:06	45.9	1:15
	学校に部活動は設定されていない	30.6	0:46	37.8	1:01	33.5	0:51	36.8	0:55	35.4	0:52	44.7	1:12	49.1	1:18

### 自宅での仕事時間

- ・ 6割強の人が週休日に自宅で仕事（61.8％）
- ・ 減少しない自宅仕事時間（1時間11分）
- ・ 自宅で仕事をしている人の最も多い学校種は小学校（66.2％）で、  
平均自宅仕事時間は1時間16分

週休日における自宅での仕事時間をみると、週休日は自宅で仕事をしない人（「0時間」）は38.2％で、2023年（37.1％）から大きな変化はみられない。この結果、週休日に自宅で仕事をしている人（61.8％）となっている。この比率は2018年（65.1％）以降、ほぼ変化はない。（第1-10表）

自宅での仕事時間の平均は1時間11分で、2023年（1時間13分）から2分減とほぼ変わらず、2018年（1時間19分）以降、週休日の自宅仕事時間は1時間10分台で推移している。

この結果、週休日における在校等時間と自宅仕事時間とを合わせた教員の労働時間は平均2時間42分である。週休日の労働時間は、2023年（2時間59分）から13分の減少（在校等時間11分、自宅仕事時間2分）は、減少率では7％となっている。2018年（3時間29分）と比べると47分の短縮となり、週休日の労働時間の短縮はすすんでいるものの、休日に仕事をしている実態は大きく変わってはいない。

第1-10表 教員の週休日（土・日）における自宅で行った仕事時間（1日平均）

	0時間	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上	4時間以上	件数	た*人の比率	平均値・時間・分
2024年計	38.2	9.4	21.2	16.5	7.7	7.0	9685	61.8	1:11
（2023年計）	37.1	9.9	20.8	17.1	7.7	7.3	4886	62.9	1:13
（2022年計）	34.6	8.4	21.8	18.3	8.4	8.5	7823	65.4	1:19
（2021年計）	34.1	9.4	22.0	18.7	8.6	7.3	5446	65.9	1:17
（2020年計）	40.5	8.8	20.4	15.4	8.2	6.7	2940	59.5	1:10
（2019年計）	36.0	8.3	20.2	18.2	9.2	8.2	7629	64.0	1:18
（2018年計）	34.9	8.7	20.2	19.4	8.6	8.3	9410	65.1	1:19

学校種別では、すべての学校種で過半数の教員が週休日に自宅で仕事をしている。特に、週休日の自宅仕事比率の高い小学校（66.2%）では、平均仕事時間も1時間16分となっている。中学校は1時間5分、高等学校1時間1分、特別支援学校48分となっている（第1-11表、第1-12表）。

週休日に自宅で仕事をする人は、学校に部活動があるかどうか、また、部活動顧問をしているかにかかわらず半数を上回り、平均の自宅仕事時間は50分弱から1時間15分程度となっている。

前節で示したように週休日に学校に出勤する人は部活動顧問で多く（週休日の出勤率：運動部顧問83.9%、文化部顧問58.5%）在校等時間も運動部顧問で3時間25分、文化部顧問で2時間16分と長かった。これに1時間台の自宅仕事時間が加わり、週休日に数時間の労働に従事している結果となっている。

第1-11表 教員の週休日（土・日）における自宅で行った仕事時間（1日平均）

		0時間	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上	4時間以上	件数	* 他人の比率 た * 自宅 で仕事 を行っ た	平均値・時間・分
2024年計		38.2	9.4	21.2	16.5	7.7	7.0	9685	61.8	1:11
学校種別	小学校	33.8	10.0	22.5	18.1	8.4	7.3	5979	66.2	1:16
	中学校	43.7	7.2	20.6	15.6	6.7	6.1	2238	56.3	1:05
	高等学校	49.3	8.9	16.2	10.7	6.8	8.1	887	50.7	1:01
	特別支援学校	50.4	13.4	18.8	8.6	4.4	4.4	409	49.6	0:48
部活動の顧問別	運動部の顧問	44.8	8.2	19.5	15.1	6.2	6.3	2282	55.2	1:04
	文化部の顧問	38.7	9.3	20.3	14.7	7.9	9.2	838	61.3	1:15
	顧問はしていない	42.4	8.0	21.5	15.4	6.6	6.1	1731	57.6	1:04
	学校に部活動は設定されていない	33.5	10.5	22.2	17.8	8.7	7.3	4834	66.5	1:16

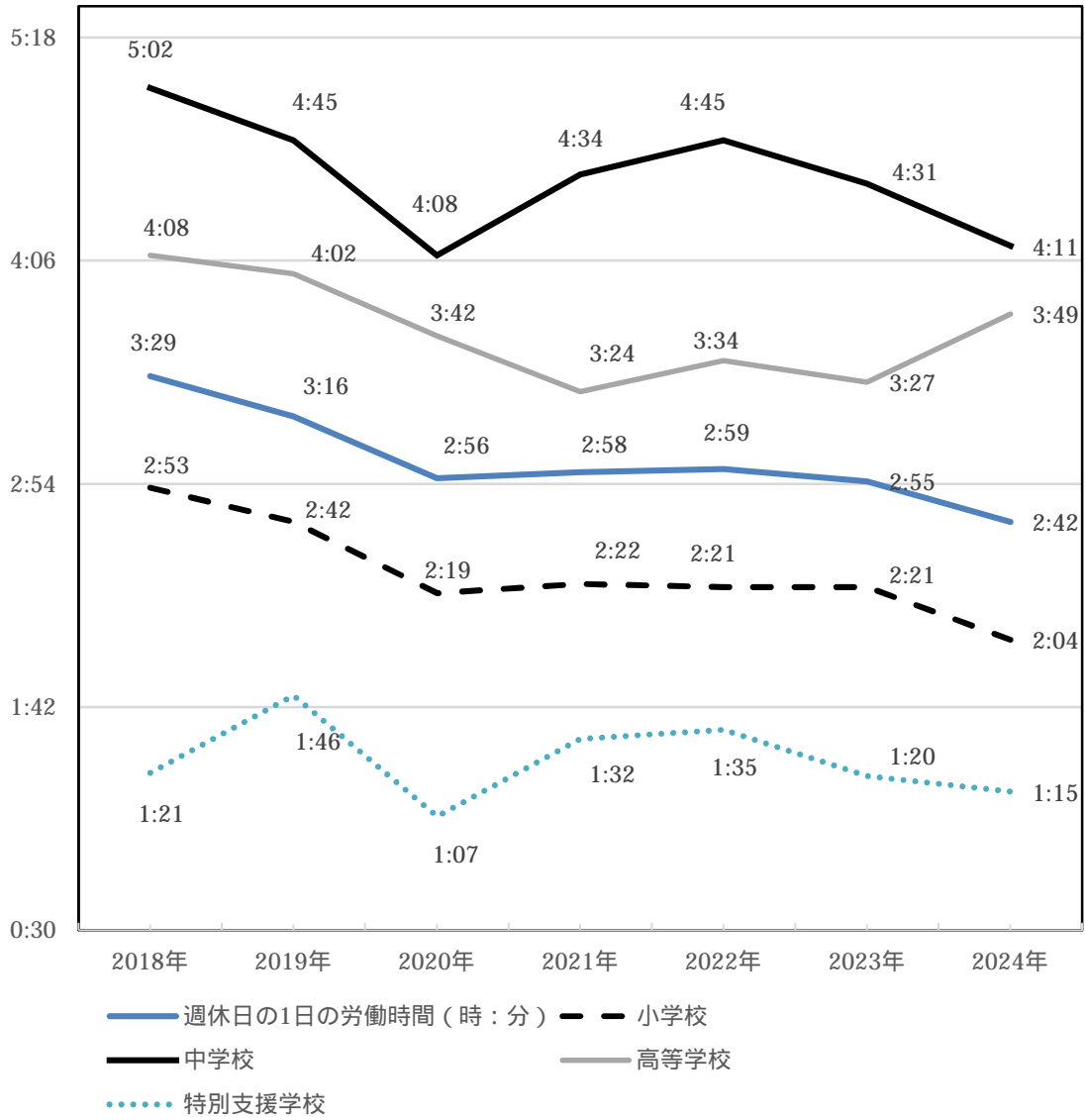
週休日における在校等時間と自宅仕事時間とを合わせた労働時間をみると、運動部顧問 4 時間 29 分（在校等時間 3 時間 25 分、自宅仕事時間 1 時間 4 分）、文化部顧問 3 時間 31 分（同 2 時間 16 分、1 時間 15 分）となっている。顧問をしていない人の労働時間は 1 時間 48 分、学校に部活動のない人は 2 時間 2 分となっている。

第 1 - 12 表 教員の週休日（土・日）における自宅で行った仕事時間（1 日平均 時間：分）

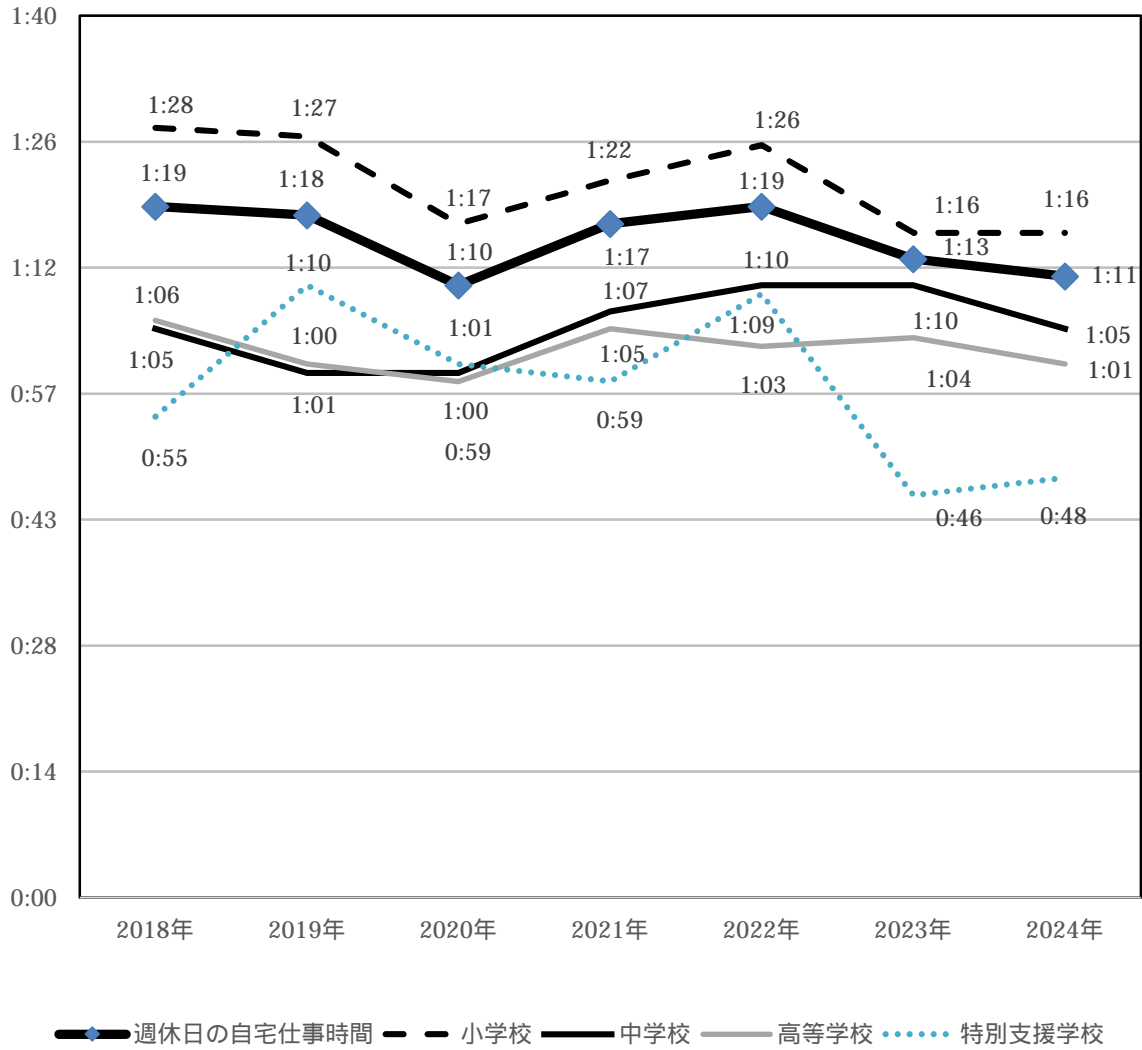
		2024年計		2023年計		2022年計		2021年計		2020年計		2019年計		2018年計	
		た * 自 人の宅 の比 率	平均 値・ 時間 ・分	た * 自 人の宅 の比 率	平均 値・ 時間 ・分	た * 自 人の宅 の比 率	平均 値・ 時間 ・分	た * 自 人の宅 の比 率	平均 値・ 時間 ・分	た * 自 人の宅 の比 率	平均 値・ 時間 ・分	た * 自 人の宅 の比 率	平均 値・ 時間 ・分	た * 自 人の宅 の比 率	平均 値・ 時間 ・分
教員計		61.8	1:11	62.9	1:13	65.4	1:19	65.9	1:17	59.5	1:10	64.0	1:18	65.1	1:19
学校 種別	小学校	66.2	1:16	66.2	1:16	69.6	1:26	70.1	1:22	65.4	1:17	69.1	1:27	69.7	1:28
	中学校	56.3	1:05	58.6	1:10	58.8	1:10	59.0	1:07	52.5	1:00	54.8	1:00	57.6	1:05
	高等学校	50.7	1:01	51.6	1:04	52.6	1:03	49.3	1:05	49.9	0:59	50.6	1:01	55.0	1:06
	特別支援学校	49.6	0:48	51.4	0:46	61.3	1:09	62.7	0:59	57.9	1:01	55.9	1:10	56.4	0:55
部活 動の 顧問 別	運動部の顧問	55.2	1:04	57.2	1:06	57.4	1:06	58.8	1:07	52.3	0:58	55.0	1:00	57.8	1:08
	文化部の顧問	61.3	1:15	65.8	1:23	63.4	1:24	61.8	1:20	58.1	1:19	61.5	1:23	65.3	1:22
	顧問はしていない	57.6	1:04	59.0	1:11	64.6	1:20	65.9	1:15	58.5	1:08	64.7	1:16	63.9	1:18
	学校に部活動は設定されていない	66.5	1:16	66.5	1:15	70.2	1:25	70.3	1:22	65.9	1:17	68.5	1:27	69.9	1:26

資料図3 教員の週休日（土～日）における労働時間（1日平均 時間：分）

（在校等時間と自宅仕事時間の小計）



資料図4 学校種別にみた教員の週休日（土～日）における自宅仕事時間（1日平均 時間：分）



## 2. 1 週間の労働時間の推移

- ・勤務日と週休日をあわせた 1 週間の労働時間は 60 時間 54 分
- ・法定労働時間（40 時間）を大幅に上回る時間外労働時間（20 時間 54 分）

勤務日と週休日における在校等時間と自宅仕事時間とを合計した 1 週間の労働時間は 60 時間 54 分で、法定労働時間（40 時間）を 20 時間 54 分上回り、所定労働時間（38 時間 45 分）では 22 時間 9 分上回る実態である（第 1 - 13 表、第 1 - 14 表、第 1 - 15 表）。

週労働時間の推移を時系列で見ると、2018 年の 66 時間 48 分をピークに以降徐々に減少し、2020 年（61 時間 37 分）は 2018 年と比べ 5 時間 11 分短くなっていた。2021 年以降は 62 時間台で推移してきた。今年も勤務日、週休日ともに在校等時間が減少した結果、労働時間は 61 時間を切り、60 時間 54 分とこれまでで最も短くなった。

第 1 - 13 表 教員の 1 週間の労働時間（時間：分）

	勤務日（月～金） （1日平均）			週休日（土・日） （1日平均）			1週間の労働時間計			1か月の労働時間計		
	在校等時間	自宅仕事時間	勤務日の労働時間	在校等時間	自宅仕事時間	週休日の労働時間	在校等時間	自宅仕事時間	労働時間計	在校等時間	自宅仕事時間	労働時間計
2024年計	10:23	0:43	11:06	1:31	1:11	2:42	54:57	5:57	60:54	219:48	23:48	243:36
(2023年計)	10:40	0:44	11:24	1:42	1:13	2:55	56:44	6:06	62:50	226:56	24:24	251:20
(2022年計)	10:35	0:45	11:20	1:40	1:19	2:59	56:15	6:23	62:38	225:00	25:32	250:32
(2021年計)	10:39	0:45	11:24	1:41	1:17	2:58	56:37	6:19	62:56	226:28	25:16	251:44
(2020年計)	10:27	0:42	11:09	1:46	1:10	2:56	55:47	5:50	61:37	223:08	23:20	246:28
(2019年計)	10:59	0:51	11:50	1:58	1:18	3:16	58:51	6:51	65:42	235:24	27:24	262:48
(2018年計)	11:07	0:51	11:58	2:10	1:19	3:29	59:55	6:53	66:48	239:40	27:32	267:12



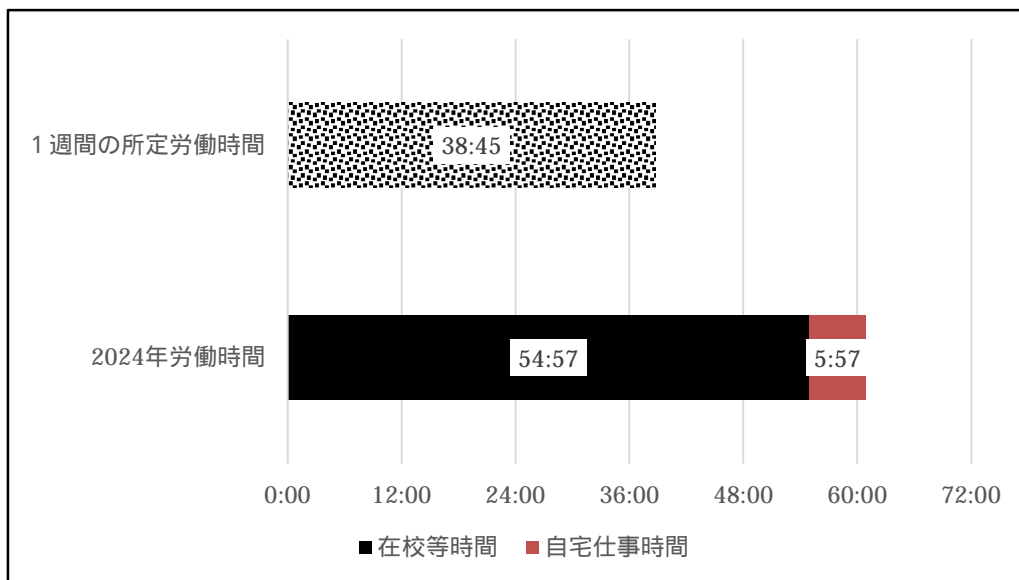
第1-14表 学校種別にみた教員の1週間の労働時間（時間：分）

	勤務日（月～金） （1日平均）			週休日（土・日） （1日平均）			1週間の労働時間計			
	在校等時間	自宅仕事時間	勤務日の労働時間	在校等時間	自宅仕事時間	週休日の労働時間	在校等時間	自宅仕事時間	労働時間計	
2024年計	10:23	0:43	11:06	1:31	1:11	2:42	54:57	5:57	60:54	
学校種別	小学校	10:22	0:45	11:07	0:48	1:16	2:04	53:26	6:17	59:43
	中学校	10:48	0:41	11:29	3:06	1:05	4:11	60:12	5:35	65:47
	高等学校	9:48	0:38	10:26	2:48	1:01	3:49	54:36	5:12	59:48
	特別支援学校	9:34	0:34	10:08	0:27	0:48	1:15	48:44	4:26	53:10
2023年計	10:40	0:44	11:24	1:42	1:13	2:55	56:44	6:06	62:50	
学校種別	小学校	10:37	0:45	11:22	1:05	1:16	2:21	55:15	6:17	61:32
	中学校	11:03	0:43	11:46	3:21	1:10	4:31	61:57	5:55	67:52
	高等学校	9:45	0:38	10:23	2:23	1:04	3:27	53:31	5:18	58:49
	特別支援学校	10:10	0:31	10:41	0:34	0:46	1:20	51:58	4:07	56:05
2022年計	10:35	0:45	11:20	1:40	1:19	2:59	56:15	6:23	62:38	
学校種別	小学校	10:31	0:49	11:20	0:55	1:26	2:21	54:25	6:57	61:22
	中学校	11:06	0:40	11:46	3:35	1:10	4:45	62:40	5:40	68:20
	高等学校	9:44	0:33	10:17	2:31	1:03	3:34	53:42	4:51	58:33
	特別支援学校	9:52	0:38	10:30	0:26	1:09	1:35	50:12	5:28	55:40
2021年計	10:39	0:45	11:24	1:41	1:17	2:58	56:37	6:19	62:56	
学校種別	小学校	10:32	0:47	11:19	1:00	1:22	2:22	54:40	6:39	61:19
	中学校	11:14	0:42	11:56	3:27	1:07	4:34	63:04	5:44	68:48
	高等学校	9:58	0:36	10:34	2:19	1:05	3:24	54:28	5:10	59:38
	特別支援学校	9:38	0:34	10:12	0:33	0:59	1:32	49:16	4:48	54:04
2020年計	10:27	0:42	11:09	1:46	1:10	2:56	55:47	5:50	61:37	
学校種別	小学校	10:28	0:46	11:14	1:02	1:17	2:19	54:24	6:24	60:48
	中学校	10:57	0:37	11:34	3:08	1:00	4:08	61:01	5:05	66:06
	高等学校	9:59	0:37	10:36	2:43	0:59	3:42	55:21	5:03	60:24
	特別支援学校	9:25	0:34	9:59	0:06	1:01	1:07	47:17	4:52	52:09
2019年計	10:59	0:51	11:50	1:58	1:18	3:16	58:51	6:51	65:42	
学校種別	小学校	10:56	0:55	11:51	1:15	1:27	2:42	57:10	7:29	64:39
	中学校	11:30	0:41	12:11	3:45	1:00	4:45	65:00	5:25	70:25
	高等学校	10:04	0:42	10:46	3:01	1:01	4:02	56:22	5:32	61:54
	特別支援学校	9:55	0:45	10:40	0:36	1:10	1:46	50:47	6:05	56:52
2018年計	11:07	0:51	11:58	2:10	1:19	3:29	59:55	6:53	66:48	
学校種別	小学校	11:02	0:55	11:57	1:25	1:28	2:53	58:00	7:31	65:31
	中学校	11:39	0:44	12:23	3:57	1:05	5:02	66:09	5:50	71:59
	高等学校	10:14	0:42	10:56	3:02	1:06	4:08	57:14	5:42	62:56
	特別支援学校	9:42	0:41	10:23	0:26	0:55	1:21	49:22	5:15	54:37

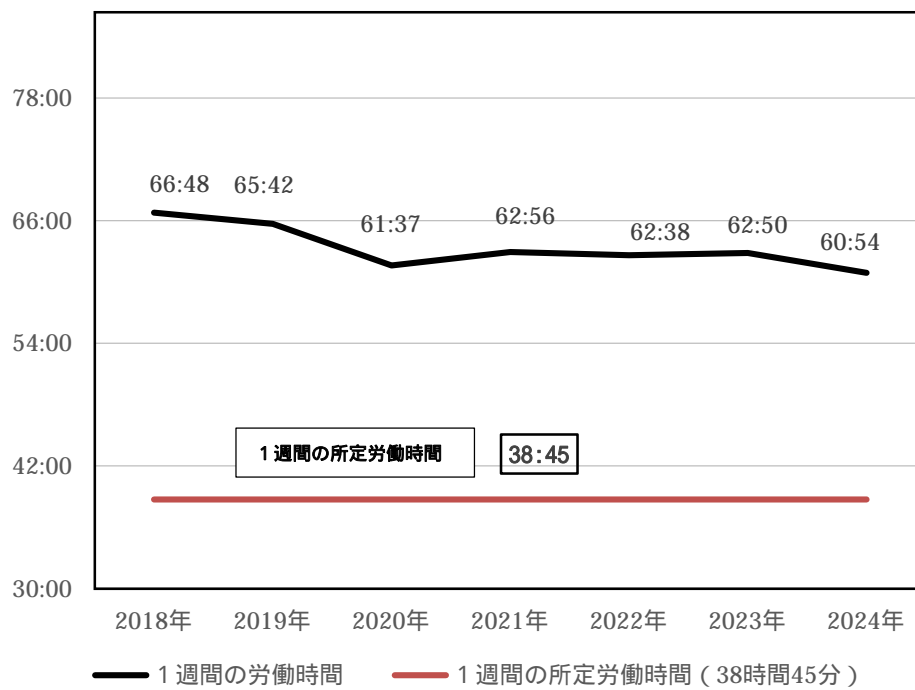
第 1 - 15 表 部活動の顧問別にみた教員の 1 週間の労働時間（時間：分）

	勤務日（月～金） （1日平均）			週休日（土・日） （1日平均）			1週間の労働時間計			
	在校等時間	自宅仕事時間	勤務日の労働時間	在校等時間	自宅仕事時間	週休日の労働時間	在校等時間	自宅仕事時間	労働時間計	
2024年計	10:23	0:43	11:06	1:31	1:11	2:42	54:57	5:57	60:54	
部活動の顧問別	運動部の顧問	10:41	0:41	11:22	3:25	1:04	4:29	60:15	5:33	65:48
	文化部の顧問	10:30	0:42	11:12	2:16	1:15	3:31	57:02	6:00	63:02
	顧問はしていない	10:03	0:42	10:45	0:44	1:04	1:48	51:43	5:38	57:21
	学校に部活動は設定されていない	10:21	0:45	11:06	0:46	1:16	2:02	53:17	6:17	59:34
2023年計	10:40	0:44	11:24	1:42	1:13	2:55	56:44	6:06	62:50	
部活動の顧問別	運動部の顧問	10:59	0:42	11:41	3:33	1:06	4:39	62:01	5:42	67:43
	文化部の顧問	10:37	0:46	11:23	2:04	1:23	3:27	57:13	6:36	63:49
	顧問はしていない	10:24	0:44	11:08	1:03	1:11	2:14	54:06	6:02	60:08
	学校に部活動は設定されていない	10:37	0:45	11:22	1:01	1:15	2:16	55:07	6:15	61:22
2022年計	10:35	0:45	11:20	1:40	1:19	2:59	56:15	6:23	62:38	
部活動の顧問別	運動部の顧問	10:57	0:39	11:36	3:42	1:06	4:48	62:09	5:27	67:36
	文化部の顧問	10:27	0:42	11:09	2:16	1:24	3:40	56:47	6:18	63:05
	顧問はしていない	10:23	0:47	11:10	0:51	1:20	2:11	53:37	6:35	60:12
	学校に部活動は設定されていない	10:29	0:48	11:17	0:51	1:25	2:16	54:07	6:50	60:57
2021年計	10:39	0:45	11:24	1:41	1:17	2:58	56:37	6:19	62:56	
部活動の顧問別	運動部の顧問	11:12	0:42	11:54	3:30	1:07	4:37	63:00	5:44	68:44
	文化部の顧問	10:41	0:43	11:24	2:12	1:20	3:32	57:49	6:15	64:04
	顧問はしていない	10:20	0:46	11:06	1:02	1:15	2:17	53:44	6:20	60:04
	学校に部活動は設定されていない	10:29	0:46	11:15	0:55	1:22	2:17	54:15	6:34	60:49
2020年計	10:27	0:42	11:09	1:46	1:10	2:56	55:47	5:50	61:37	
部活動の顧問別	運動部の顧問	10:50	0:37	11:27	3:18	0:58	4:16	60:46	5:01	65:47
	文化部の顧問	10:29	0:45	11:14	2:03	1:19	3:22	56:31	6:23	62:54
	顧問はしていない	10:11	0:40	10:51	0:49	1:08	1:57	52:33	5:36	58:09
	学校に部活動は設定されていない	10:16	0:46	11:02	0:52	1:17	2:09	53:04	6:24	59:28
2019年計	10:59	0:51	11:50	1:58	1:18	3:16	58:51	6:51	65:42	
部活動の顧問別	運動部の顧問	11:23	0:43	12:06	3:57	1:00	4:57	64:49	5:35	70:24
	文化部の顧問	10:52	0:47	11:39	2:21	1:23	3:44	59:02	6:41	65:43
	顧問はしていない	10:39	0:53	11:32	1:06	1:16	2:22	55:27	6:57	62:24
	学校に部活動は設定されていない	10:53	0:54	11:47	1:12	1:27	2:39	56:49	7:24	64:13
2018年計	11:07	0:51	11:58	2:10	1:19	3:29	59:55	6:53	66:48	
部活動の顧問別	運動部の顧問	11:37	0:46	12:23	3:57	1:08	5:05	65:59	6:06	72:05
	文化部の顧問	11:11	0:49	12:00	2:33	1:22	3:55	61:01	6:49	67:50
	顧問はしていない	10:38	0:50	11:28	1:15	1:18	2:33	55:40	6:46	62:26
	学校に部活動は設定されていない	10:56	0:54	11:50	1:18	1:26	2:44	57:16	7:22	64:38

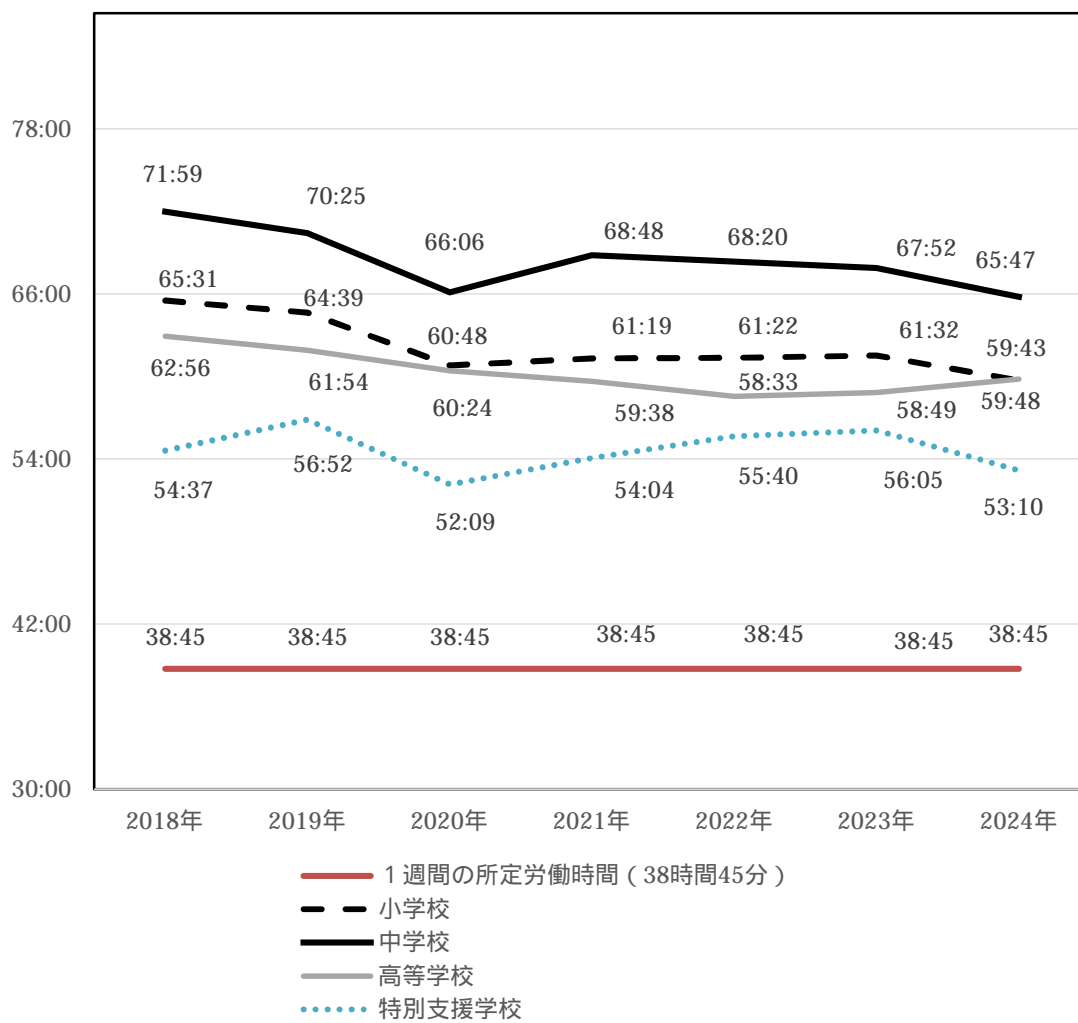
資料図5 所定労働時間と比べた教員の1週間の労働時間（週平均 時間：分）



資料図6 時系列でみた教員の1週間の労働時間（週平均 時間：分）



資料図7 学校種別にみた教員の1週間の労働時間（週平均 時間：分）



### 3 . 休憩時間の実態

- ・ 休憩をまったく取れない「0分」の人が37.5%、
- ・ 法定休憩時間（45分）を取れない人が圧倒的多数
- ・ 平均12.9分、改善が進まない休憩時間の取得
- ・ 小学校（9.8分）と中学校（13.6分）では10分程度

教員の休憩時間について実際に取得できた休憩時間を質問した。

回答では、休憩を全く取れなかった「0分」（37.5%）で4割近くが休憩時間を取れない実態となっている（第1-16表）。

法定休憩時間である45分を下回る休憩時間では、「15分未満」21.3%、「15分以上（30分未満）」20.3%、「30分以上（45分未満）」15.1%で、実際に取得できた休憩時間が<45分未満>という人が94.2%となっている。

平均休憩時間は12.9分で労働基準法に違反する状態であり、2023年（平均12.7分）とほとんど変わっていない。

休憩時間は学校種による違いが大きく、小学校と中学校では「0分」が43.3%と37.6%で、平均休憩時間は9.8分と13.6分、高等学校は4.5%、平均30.1分、特別支援学校は平均16.9分となっている。となっている。全学校種で平均休憩時間は法定休憩時間を大幅に下回る実態となっている。

なお、部活動の顧問別では目立った違いはみられなかった。

#### 4. 持ち授業時数

中教審「質の高い教師の確保特別部会」においても持ち授業時数のあり方について議論され、『「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）」では、特に小学校における持ち授業時数の軽減の必要性が指摘されている。

- ・ 小学校の持ち授業時数は平均 23.44 コマ、  
望ましい持ち授業時数（19.70 コマ）実現のためには 3.75 コマの削減が必要
- ・ 中学校、高等学校、特別支援学校でも  
望ましい持ち授業時数には 2～3 コマ程度の削減が必要

#### （1）1 週間の持ち授業時数

1 週間の持ち授業時数（コマ数）については、学校種によって 1 コマの時間が異なるため学校種別にみていく。

小学校では「24 コマ以上」30.7%で、平均 23.44 コマ（中央値 25 コマ）である（第 1 - 17 表）。

中学校では、「18 コマ以上」22.8%、「20 コマ以上」25.3%で平均 18.00 コマ（中央値 19 コマ）、高等学校では「16 コマ以上」31.7%、「18 コマ以上」25.1%で平均 15.75 コマ（中央値 16 コマ）、特別支援学校は平均 20.30 コマ（中央値 22 コマ）である。

第 1 - 16 表 1 週間の持ち授業時数（教員の方）

		1 0 コ マ 未 満	1 0 コ マ 以 上	1 2 コ マ 以 上	1 4 コ マ 以 上	1 6 コ マ 以 上	1 8 コ マ 以 上	2 0 コ マ 以 上	2 2 コ マ 以 上	2 4 コ マ 以 上	2 6 コ マ 以 上	2 8 コ マ 以 上	3 0 コ マ 以 上	無 回 答	件 数	中 央 値 ・ コ マ	平 均 値 ・ コ マ
2024年計		4.4	1.7	3.2	5.4	7.5	9.2	12.7	12.3	20.9	10.7	10.0	2.0	...	9882	23.00	21.29
学 校 種	小学校	4.5	0.9	0.9	1.1	1.3	2.1	9.3	16.0	30.7	16.2	14.4	2.7	...	6213	25.00	23.44
	中学校	3.4	2.1	6.3	11.4	14.8	22.8	25.3	7.4	3.6	0.6	1.9	0.3	...	2257	19.00	18.00
	高等学校	2.5	5.5	10.2	19.4	31.7	25.1	5.0	0.2	0.1	0.1	0.1	...	...	912	16.00	15.75
	特別支援学校	10.8	3.3	3.0	5.0	7.5	6.9	11.3	12.2	15.7	5.5	12.2	6.6	...	362	22.00	20.30

(2) 望ましい1週間の持ち授業時数

望ましいと思う1週間の持ち授業時数は、小学校では「20コマ以上」58.0%で平均19.70コマ(中央値20コマ)、中学校では「14コマ以上」38.1%で平均14.84コマ(中央値15コマ)、高等学校では「14コマ以上」43.5%で平均13.38コマ(中央値14コマ)、特別支援学校では「20コマ以上」33.4%で平均17.08コマで(中央値18コマ)ある。(第1-18表)。

現在の持ち授業時数と望ましい持ち授業時数を対比すると小学校で3.75コマの削減が、他の校種でも2~3コマの削減が望まれている(第1-19表)。

第1-17表 望ましい1週間の持ち授業時数(教員の方)

		1 0 コ マ 未 満	1 0 コ マ 以 上	1 2 コ マ 以 上	1 4 コ マ 以 上	1 6 コ マ 以 上	1 8 コ マ 以 上	2 0 コ マ 以 上	2 2 コ マ 以 上	2 4 コ マ 以 上	2 6 コ マ 以 上	2 8 コ マ 以 上	3 0 コ マ 以 上	無 回 答	件 数	中 央 値 ・ コ マ	平 均 値 ・ コ マ
2024年計		3.0	3.3	7.0	19.3	6.2	8.4	39.4	4.2	8.3	0.4	0.3	0.2	...	9882	20.00	17.84
学 校 種	小学校	2.5	0.8	0.7	8.8	1.7	7.3	58.0	6.3	12.6	0.7	0.4	0.2	...	6213	20.00	19.70
	中学校	3.4	6.0	16.2	38.1	16.0	13.7	6.2	0.2	0.3	...	...	...	...	2257	15.00	14.84
	高等学校	2.3	12.3	28.1	43.5	12.4	1.4	...	...	...	...	...	...	...	912	14.00	13.38
	特別支援学校	9.4	5.2	3.3	16.6	8.0	10.8	33.4	2.5	7.5	0.6	1.7	1.1	...	362	18.00	17.08

第1-18表 希望する授業時間の削減数  
(1週間、教員の方)

		コ マ 持 ち 授 業 時 間 数 ・	数 望 ・ ま コ し マ い 授 業 時 間	の 希 望 削 減 す る 授 業 時 間 ・ コ マ
2024年計		21.29	17.84	3.45
学 校 種	小学校	23.44	19.70	3.75
	中学校	18.00	14.84	3.17
	高等学校	15.75	13.38	2.37
	特別支援学校	20.30	17.08	3.21



## 5. 授業準備時間

授業準備時間の現状と希望について確認する。

- ・ 1週間の授業準備時間は平均 5 時間 34 分、高等学校では 7 時間 27 分
- ・ 希望する授業準備時間は平均 6 時間 32 分

### (1) 1週間の授業準備時間

1週間の授業準備にかけている時間は、「2時間以上」(27.7%)と「4時間以上」(24.3%)が多いものの、<10時間以上>(20.0%)も少なくなく、平均で5時間34分となっている(第1-20表)。

学校種別では、平均時間で小学校は5時間26分、中学校は5時間12分、特別支援学校が5時間17分となっている。高等学校では平均時間7時間27分で<10時間以上>33.8%となっている。

第1-19表 1週間の授業準備時間(教員の方)

		2時間未満	2時間以上	4時間以上	6時間以上	8時間以上	10時間以上	15時間以上	20時間以上	件数	平均値・時分	10時間以上・計
2024年計		13.2	27.7	24.3	9.9	4.9	14.0	3.7	2.3	9538	5:34	20.0
学校種	小学校	14.3	28.4	23.9	9.8	4.3	13.9	3.2	2.2	5967	5:26	19.3
	中学校	12.4	29.7	26.3	10.8	4.6	11.3	3.6	1.4	2185	5:12	16.3
	高等学校	6.5	19.9	22.0	8.2	9.6	21.1	7.5	5.2	888	7:27	33.8
	特別支援学校	15.6	24.6	25.7	10.6	5.6	15.1	1.1	1.7	358	5:17	17.9

(2) 自宅での1週間の授業準備時間

自宅で授業準備を行っていない「0時間」は33.5%で、66%以上が自宅での授業準備を行っており、「0時間」を含めた平均時間は1時間40分となっている(第1-21表)。

学校種別の平均時間では、小学校1時間46分、中学校1時間25分、高等学校1時間47分、特別支援学校1時間15分となっている。

1週間の授業準備時間(5時間34分)における自宅での準備時間(1時間40分)の比率は29.9%である。1週間の自宅仕事時間(5時間57分)の比率は28.0%となっている。

授業準備時間は、小学校5時間26分、中学校5時間12分で、自宅での準備時間は小学校1時間40分、中学校1時間25分となっている。勤務日の在校等時間では、小学校10時間22分、中学校10時間48分となっている。授業準備時間に占める自宅での準備時間では、小学校32.5%、中学校27.2%となっている(第1-22表)。授業準備時間は、1週間の授業準備時間7時間27分、自宅仕事時間における授業準備の比率34.4%と高等学校が最も高くなっている。

第1-20表 1週間の自宅での授業準備時間(教員の方)

		0時間	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上	4時間以上	5時間以上	10時間以上	件数	平均値・時分
2024年計		33.5	14.1	18.5	12.6	6.2	3.1	9.7	2.4	9538	1:40
学校種	小学校	29.5	14.6	19.5	13.9	6.6	3.0	10.4	2.5	5967	1:46
	中学校	40.7	13.2	16.8	11.1	5.8	3.2	7.2	2.0	2185	1:25
	高等学校	40.1	12.6	15.2	7.9	6.0	3.5	11.5	3.3	888	1:47
	特別支援学校	40.8	16.2	17.0	11.2	4.2	2.2	7.3	1.1	358	1:15

第1-21表 1週間の自宅での授業準備時間(教員の方)

		平均値・時分	1週間の授業準備時間	授業準備時間における自宅での授業準備時間の割合	1週間の自宅仕事時間	自宅仕事時間における授業準備時間の割合	件数
2024年計		1:40	5:34	29.9	5:57	28.0	9538
学校種	小学校	1:46	5:26	32.5	6:17	28.1	5967
	中学校	1:25	5:12	27.2	5:35	25.4	2185
	高等学校	1:47	7:27	23.9	5:12	34.3	888
	特別支援学校	1:15	5:17	23.7	4:26	28.2	358

(3) 希望する1週間の授業準備時間

教員は1週間の授業準備にどの程度の時間をかけたいと考えているのかをたずねた結果、「2時間以上」21.1%と「4時間以上」27.4%に加えて、<10時間以上>(29.3%)との回答も3割となっている(第1-23表)。

平均は6時間32分で、これを前述の授業準備時間(平均5時間34分)と対比すると、その差は58分である。(第1-24表)。

学校種別では、高等学校では<10時間以上>が半数近くにのぼる。希望時間の平均は、小学校6時間18分、中学校6時間16分、高等学校9時間、特別支援学校6時間6分となっている。

希望する授業準備時間と実際の授業準備時間とを対比し、不足していると思われる準備時間は、小学校52分、中学校1時間4分、高等学校1時間33分、特別支援学校49分となっている。

第1-22表 希望する1週間の授業準備時間(教員の方)

		2時間未満	2時間以上	4時間以上	6時間以上	8時間以上	10時間以上	15時間以上	20時間以上	件数	平均値・時分
2024年計		8.5	21.1	27.4	8.9	4.9	21.0	5.1	3.2	9538	6:32
学校種	小学校	9.0	21.6	29.0	8.0	4.1	21.5	4.1	2.7	5967	6:18
	中学校	8.4	22.6	26.8	10.6	5.6	18.7	5.0	2.4	2185	6:16
	高等学校	4.4	12.6	19.7	10.6	7.0	24.9	11.6	9.2	888	9:00
	特別支援学校	9.2	24.6	24.0	10.1	6.7	18.7	4.7	2.0	358	6:06

第1-23表 1週間の授業準備時間(教員の方)

		授業準備時間			希望する授業準備時間・時分	授業準備時間の増加・時分の希望
		分授業準備時間・時	自宅での授業準備時間	のめり割合・% 授業準備時間に占める割合	希望する授業準備時間・時分	授業準備時間の増加・時分の希望
2024年計		5:34	1:40	29.9	6:32	0:58
学校種	小学校	5:26	1:46	32.5	6:18	0:52
	中学校	5:12	1:25	27.2	6:16	1:04
	高等学校	7:27	1:47	23.9	9:00	1:33
	特別支援学校	5:17	1:15	23.7	6:06	0:49

## 第2章 36協定の締結状況

本章では、事務職員、学校栄養職員、現業職員、学校司書といった職員の勤務している学校・職場における36協定の締結状況と超過勤務の実態、及び休憩時間の取得状況についてみていく。

### 1. 36協定の締結状況

・依然として「締結していない」人が5.9%、「締結している」は87.9%で、「わからない」も6.2%

事務職員、学校栄養職員、現業職員、学校司書等が勤務する学校・職場における36協定の締結状況をみると、「締結している」87.9%で2023年（86.7%）とほぼ同じである。「締結していない」は5.9%で、小学校6.9%、中学校4.0%となっている（第2-1図）。

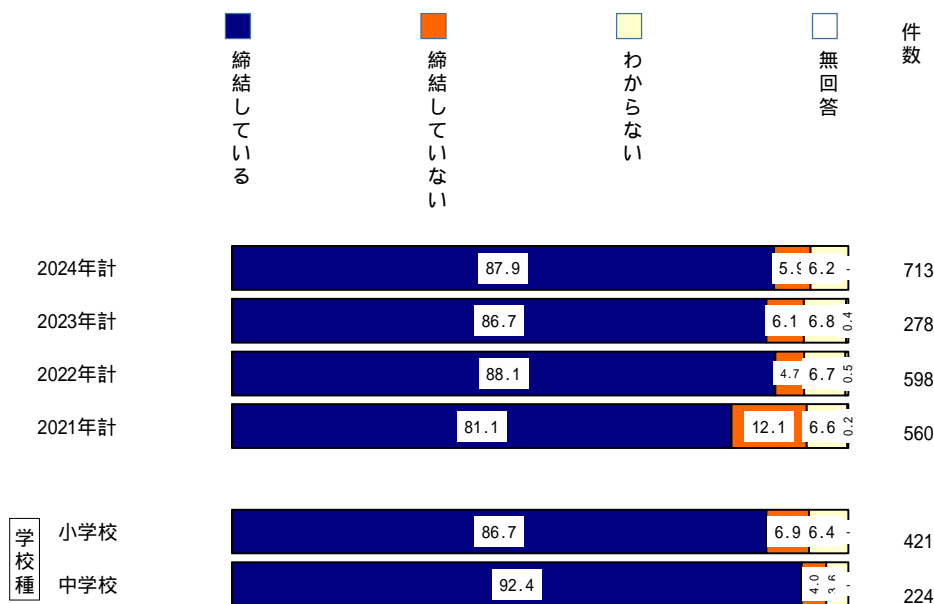
### 2. 36協定締結の有無と4月の勤務時間

#### (1) 36協定を締結している学校に勤務している人の勤務時間

・締結時間を「超えていた」19.5%

36協定を「締結している」学校・職場に勤務する職員に、今年（2024年）4月の勤務時間が36協定で締結した時間内に収まっていたのかどうかを質問した。

第2-1図 36協定締結の有無（学校栄養職員、事務職員、現業職員、学校司書）



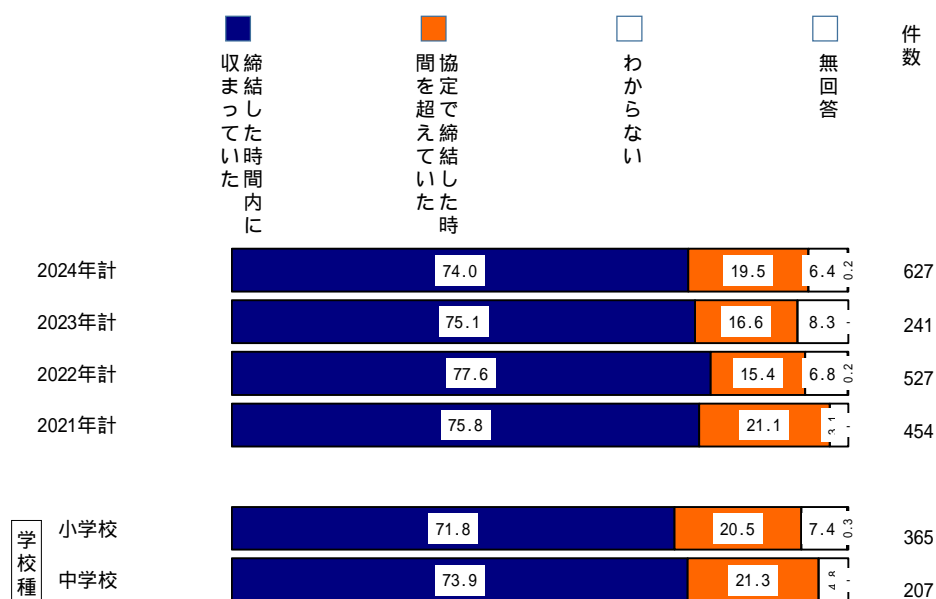
回答結果では、締結した時間内に「収まっていた」74.0%、「締結した時間を超えていた」19.5%となっている（第2-2図）。

2023年（16.6%）と比べると、「締結した時間を超えていた」19.5%は増加した。

学校種別では、小学校20.5%、中学校21.3%となっている。

36 協定締結時間を超えての勤務は労基法違反。

第2-2図 今年4月の勤務時間と36協定で締結した時間  
（36協定を締結している学校に勤務している職員）



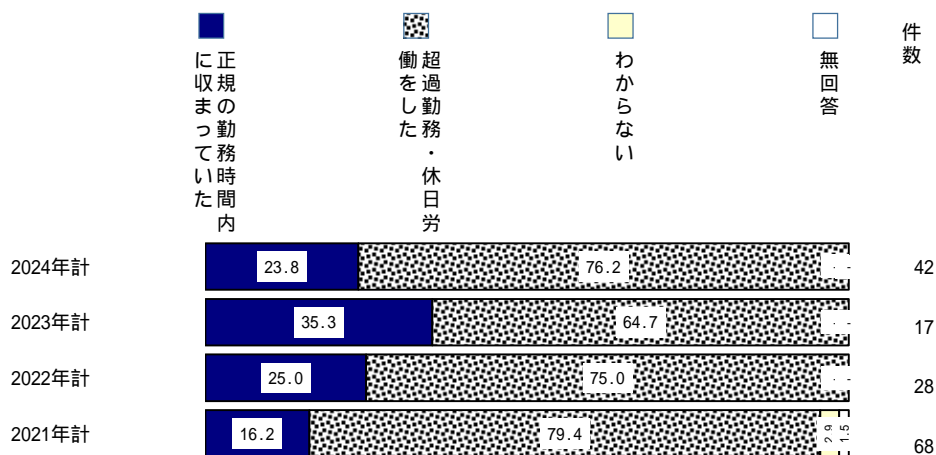
( 2 ) 36 協定未締結の学校で勤務している人の超過勤務・休日労働の有無

・ 36 協定未締結学校勤務者で、「時間外勤務・休日勤務」をした人は 76.2%

36 協定を締結していない学校に勤務している職員 5.9% ( 42 人、うち小学校 29 人 ) に対し、今年 ( 2024 年 ) 4 月の時間外勤務・休日労働の有無を質問すると、「正規の勤務時間内に収まっていた」23.8%、「時間外勤務・休日労働をした」76.2%となっている( 第 2 - 3 図 )。

36 協定未締結での時間外・休日勤務は労基法違反。

第 2 - 3 図 今年 4 月の勤務時間と正規の勤務時間 ( 36 協定を締結していない学校に勤務している職員 )



### 3. 休憩時間の取得の有無

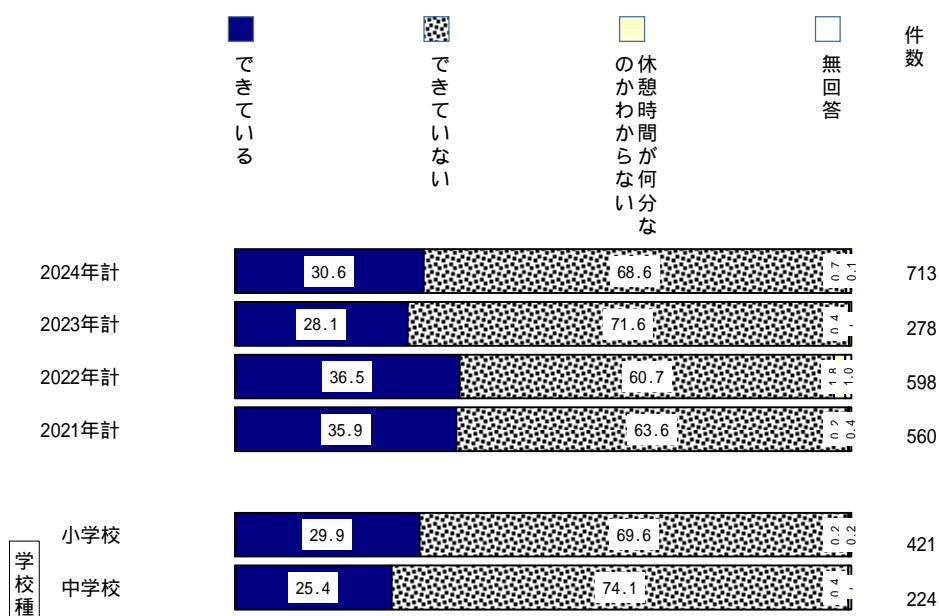
・改善がすすまない休憩時間の取得、  
取得が「できていない」は小学校（69.6%）と中学校（74.1%）で7割前後と大多数

職員は、休憩時間を決められた通りに取得「できている」人 30.6%、「できていない」68.6%となっている。

教員同様に、職員についても労基法違反の実態となっている（第2-4図）。

学校種別では、決められた休憩時間を取得「できていない」人は、小学校69.6%、中学校74.1%となっている。

第2-4図 決められた休憩時間取得の有無（学校栄養職員、事務職員、現業職員、学校司書）



### 第3章 教職員の勤務の把握状況

本章では、管理職による教職員の勤務の把握状況についてみていく。

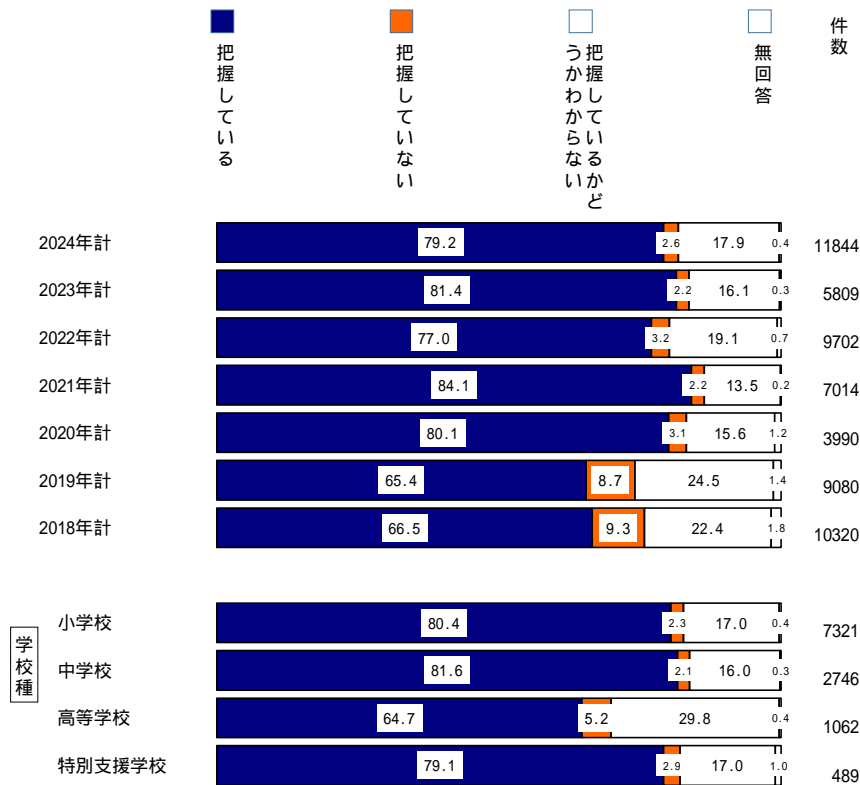
#### 1. 管理職による教職員の勤務の把握状況

##### (1) 管理職による教職員の出勤、退勤時刻の把握状況

- ・ 8割にとどまる出勤、退勤時刻を「把握している」(79.2%)
- ・ 「把握しているかどうか分からない」は17.9%

改正給特法では勤務時間の客観的把握を義務付けているが、管理職による教職員の出勤、退勤時刻の把握状況をみると、「把握している」79.2%、「把握していない」2.6%、「把握しているかどうか分からない」17.9%となっている(第3-1図)。学校種別にみると、「把握している」は小学校80.4%、中学校81.6%、高等学校64.7%、特別支援学校79.1%となっている。「把握しているかどうか分からない」は高等学校(29.8%)で最も多くなっている。

第3-1図 管理職による教職員の出勤、退勤時刻の把握の有無





(2) 土・日、祝日における教職員の学校勤務の把握状況

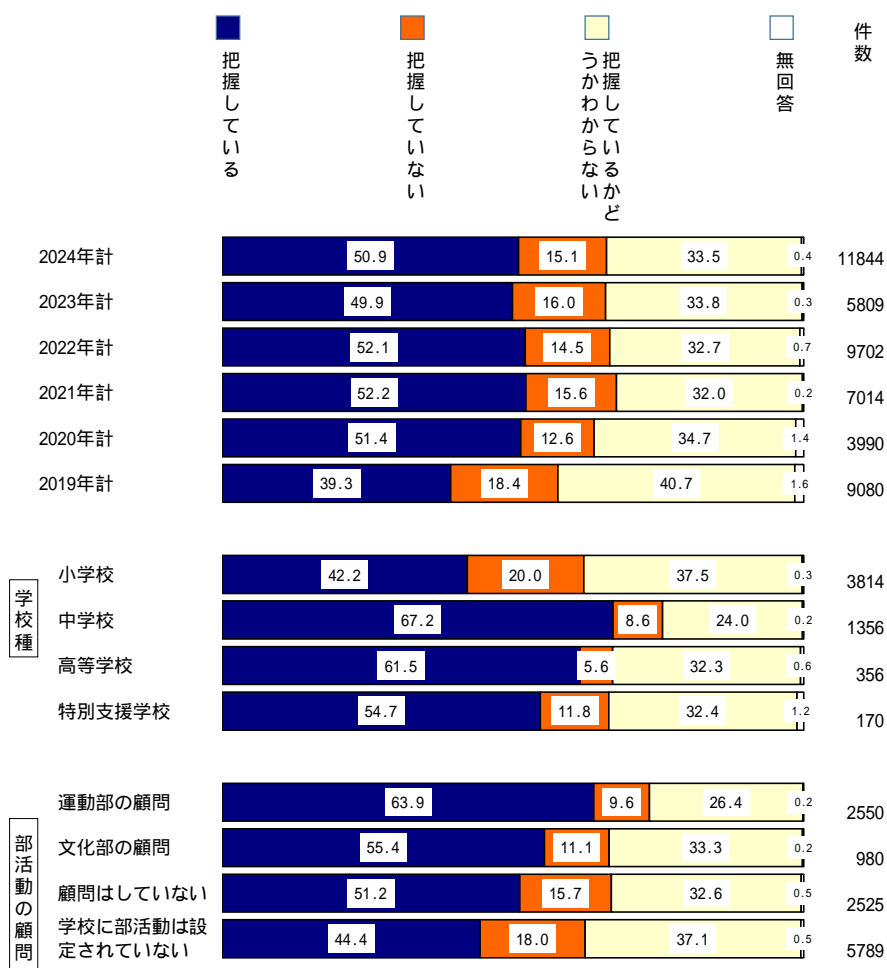
・勤務日と比べ改善のすすまない土・日、祝日の把握状況、  
 「把握している」(50.9%)は半数にとどまり、「わからない」(33.5%)が3割強  
 ・「把握している」は部活動顧問の多い中学校、高等学校で6割前後

土・日、祝日における管理職による学校勤務の把握状況をみると、「把握している」50.9%、「把握していない」15.1%、「把握しているかどうか分からない」33.5%となっている。このような把握状況は2020年以降改善されていない(第3-2図)。

学校種別では、「把握している」は小学校44.8%、中学校64.2%、高等学校55.7%、特別支援学校57.1%となっている。部活動顧問をしている教員が8~9割の中学校・高等学校で「把握している」比率が高い。

部活動の顧問別にみると、「把握している」は運動部顧問63.9%、文化部顧問55.4%となっている。なお、「把握していない」は運動部顧問9.6%、文化部顧問11.1%となっている。

第3-2図 管理職による教職員の土・日、祝日の学校における勤務状況(部活動指導含む)の把握の有無



## 2. 管理職が把握する勤務時間（在校等時間）

・管理職が把握した勤務時間を閲覧・確認「できない」人が3割弱

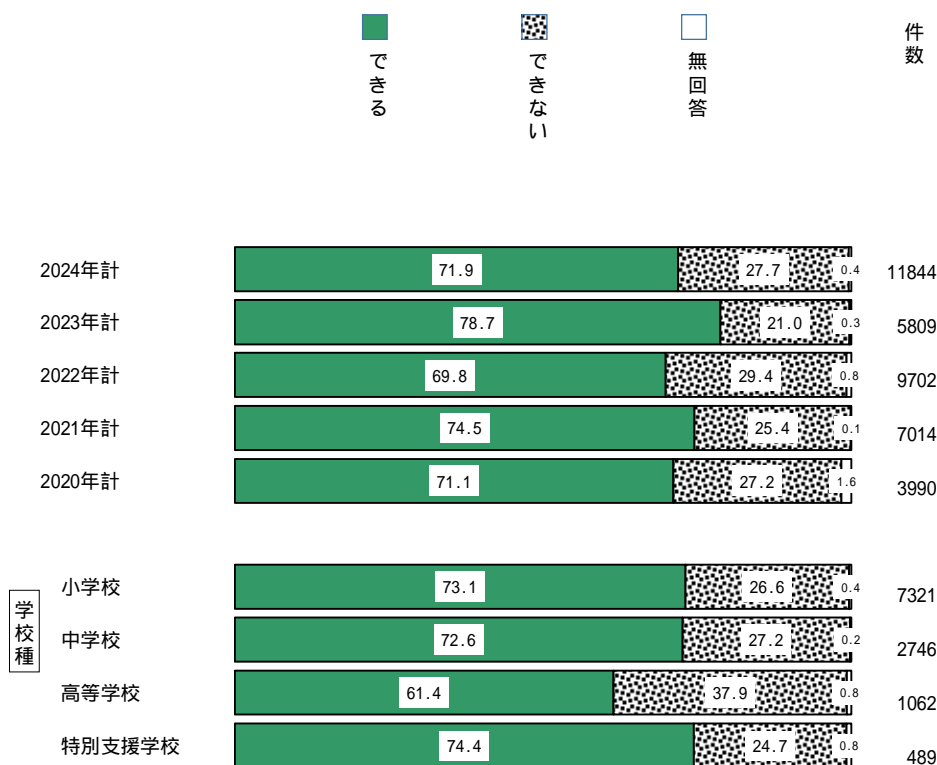
管理職が把握する勤務時間（在校等時間）を自分自身は閲覧・確認することができるだろうか。

閲覧・確認が「できる」と回答した人は71.9%、「できない」は27.7%となっている。

「できる」は2023年（78.8%）から71.9%に減少し、「できない」は2023年（21.0%）から27.7%と増加している。教職員が自分の勤務時間（在校等時間）を閲覧・確認できるようにはなっていない現状にある（第3-3図）。

全学校種別で、「できない」が2～3割となっている。

第3-3図 管理職が把握している勤務時間（在校等時間）の確認



### 3. 実際の勤務時間と管理職記録の勤務時間

- ・実際の勤務時間と管理職の記録時間の「異なる」人が1割弱
- ・一致しているかどうか「わからない」人が4分の1

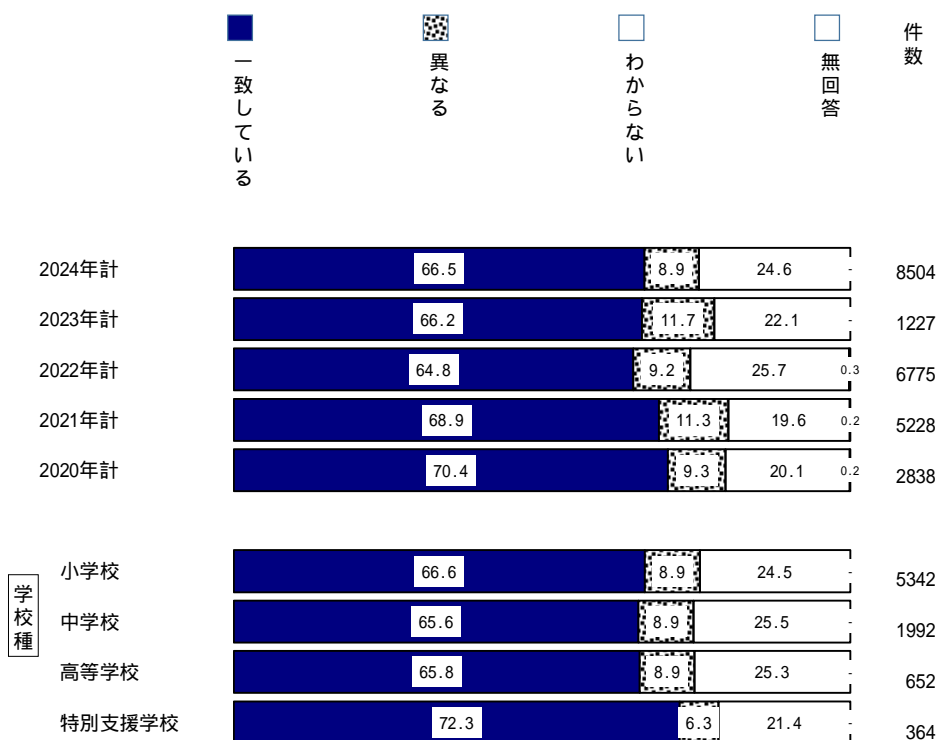
管理職が記録する勤務時間記録を閲覧・確認可能と回答した教職員（71.9%）に、管理職記録の勤務時間が実際の勤務時間と異なるかどうかを質問した。

勤務の実態を反映した勤務記録には、管理職による客観的な勤務時間把握と、教職員が自分の勤務時間（在校等時間）を確認する必要がある。

その結果、「一致している」は66.5%で、実際とは「異なる」8.9%、実際の勤務時間と一致するかどうか「わからない」24.6%となっている。（第3-4図）

学校種別でも、「一致している」は6~7割、「わからない」は2割台となっている。

第3-4図 実際の勤務時間と管理職記録の勤務時間  
（管理職が把握している在校等時間の確認ができる人）



## 第4章 学校における働き方改革の進捗状況

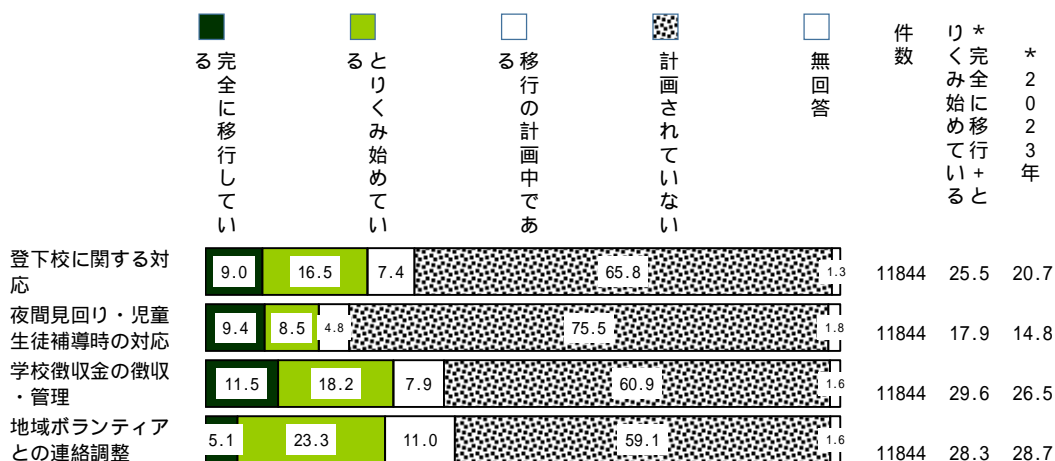
・移行が滞る [ 基本的には学校以外が担うべき業務 ]

依然として過半数が「計画されていない」

学校の業務移行はすすんでいるのだろうか。本章では3分類した業務の中で、[ 基本的には学校以外が担うべき業務 ] について、その進捗状況をみていくことにする。

取り上げた業務は下記の4業務で、それぞれの進捗状況について「1.完全に移行している」、「2.とりくみ始めている」、「3.移行の計画之中である」、「4.計画されていない」のいずれかに回答してもらった(第4-1図)。

第4-1図 「基本的には学校以外が担うべき業務」移行の進捗状況



- A . [ 登下校に関する対応 ]
- B . [ 放課後から夜間における見回りなど ]
- C . [ 学校徴収金の徴収・管理 ]
- D . [ 地域ボランティアとの連絡調整 ]

移行の進捗状況を「完全に移行している」と「とりくみ始めている」との小計（＜完全移行+取り組み始めている＞の比率）でみると、[ 学校徴収金の徴収・管理 ] 29.6%、[ 地域ボランティアとの連絡調整 ] 28.3%、[ 登下校に関する対応 ] 25.5%、[ 放課後から夜間における見回りなど ] 17.9%となっている。

いずれも3割に届いていない。

「完全に移行している」では[ 学校徴収金の徴収・管理 ] が 11.5%で、[ 放課後から夜間における見回りなど ] (9.4%)、[ 登下校に関する対応 ] (9.0%)、[ 地域ボランティアとの連絡調整 ] (5.1%) では1割に届かない。

「移行の計画内である」では、[ 地域ボランティアとの連絡調整 ] が 11.0%で、[ 学校徴収金の徴収・管理 ] (7.9%) と [ 登下校に関する対応 ] (7.4%) は1割を下回り、[ 放課後から夜間における見回りなど ] は 4.8%と最も低い。

「計画されていない」は、[ 放課後から夜間における見回りなど ] 75.5%、[ 登下校に関する対応 ] 65.8%、[ 学校徴収金の徴収・管理 ] 60.9%、[ 地域ボランティアとの連絡調整 ] 59.1%と高く、業務すべき移行であるにもかかわらず、「計画内」ですらない実態となっている。

なお、この結果を＜完全移行+取り組み始めている＞の比率について2023年と比べてみると、[ 地域ボランティアとの連絡調整 ] を除きいずれの業務もわずかながら進展がみられる。しかし、最も進展の大きかった[ 登下校に関する対応 ] でも増加は約5ポイントにとどまり、「計画されていない」が65.8%を占めている。

これを<完全移行+取り組み始めている>の比率について学校種別についてみたのが第4-1表である。

小学校と中学校とを対比すると、移行状況はいずれの業務でも小学校でやや多い。小学校では[地域ボランティアとの連絡調整]32.5%、[学校徴収金の徴収・管理]31.2%、[登下校に関する対応]29.0%、[放課後から夜間における見回りなど]19.4%となっている。

中学校では、[登下校に関する対応]20.5%、[放課後から夜間における見回りなど]14.8%、[学校徴収金の徴収・管理]27.1%、[地域ボランティアとの連絡調整]25.2%となっている。

なお、特別支援学校では[登下校に関する対応]23.1%、[学校徴収金の徴収・管理]23.7%となっている。

第4-1表 「基本的には学校以外が担うべき業務」移行の進捗状況  
(<「完全に移行している」と「とり組み始めている」の小計>)

		2024年					2023年				
		応 下 校 に 関 す る 対 応	登 回 ら る 夜 間 に お け る 見 回 り な ど	放 課 後 か ら 夜 間 に お け る 見 回 り な ど	学 校 徴 収 金 の 徴 収 ・ 管 理	地 域 ボ ラ ン テ ィ ア と の 連 絡 調 整	件 数	応 下 校 に 関 す る 対 応	登 回 ら る 夜 間 に お け る 見 回 り な ど	放 課 後 か ら 夜 間 に お け る 見 回 り な ど	学 校 徴 収 金 の 徴 収 ・ 管 理
総計		25.5	17.9	29.6	28.3	11844	20.7	14.8	26.5	28.7	5809
学校種	小学校	29.0	19.4	31.2	32.5	7321	23.7	16.2	28.7	32.3	3814
	中学校	20.5	14.8	27.1	25.2	2746	14.7	13.0	22.3	24.3	1356
	高等学校	15.4	14.7	29.3	13.3	1062	10.4	9.8	20.2	10.1	356
	特別支援学校	23.1	18.6	23.7	16.4	489	21.2	14.7	18.8	17.6	170

ところで「基本的には学校以外が担うべき業務」が移行した場合、勤務日の在校等時間はどの程度短縮されるのだろうか。[完全に移行している]という人の在校等時間が[計画されていない]人と比べどの程度短くなっているのか、この点を示したのが第4-2表である。

[計画されていない]教職員と比べた[完全に移行している]教職員の在校等時間の短縮時間を各業務別にみると、[登下校に関する対応]で17分、[放課後から夜間における見回りなど]で13分、[学校徴収金の徴収・管理]で9分、[地域ボランティアとの連絡調整]で16分短くなっている。

各業務の短縮は単純に移行の進捗状況だけによるものではないものの、[完全に移行している]学校に勤務している教職員の場合、20分未満ではあるものの、在校等時間が短い点で共通している。

第4-2表 業務移行の進捗状況別にみた勤務日の在校等時間（1日平均、時間：分）

		登下校に関する対応	放課後から夜間における見回りなど	学校徴収金の徴収・管理	地域ボランティアとの連絡調整
2024年計		10:23	10:23	10:23	10:23
業務の進捗状況	完全に移行している	10:09	10:12	10:15	10:08
	とりくみ始めている	10:20	10:26	10:25	10:22
	移行の計画中有る	10:30	10:22	10:27	10:29
	計画されていない	10:26	10:25	10:24	10:24
[完全に移行]-[計画がない]		17分減	13分減	9分減	16分減

## 第5章 教員の部活動指導について

本章では、はじめに教員の部活動指導における部活指導員の配置状況について確認し、続いて、2023年度以降、段階的に地域移行されている休日の部活動（設定達成目標時期は2025年度（令和7年度）末）について、その進捗状況と教職員の関わり方についてみていくことにする。

なお、移行される地域の受け皿として、地域スポーツクラブや競技別クラブなどの地域のスポーツクラブや教育委員会等が想定されている。

### 1. 部活動指導員の配置状況（学校に部活動のある教職員）

・「十分な人数が配置」は6.5%にすぎず、「不十分」(36.6%)を加えても、 ＜配置されている＞は4割強と半数を下回る
---

学校に部活動のある教職員を対象に、学校における部活動指導員の配置状況について質問した（第5-1図）。

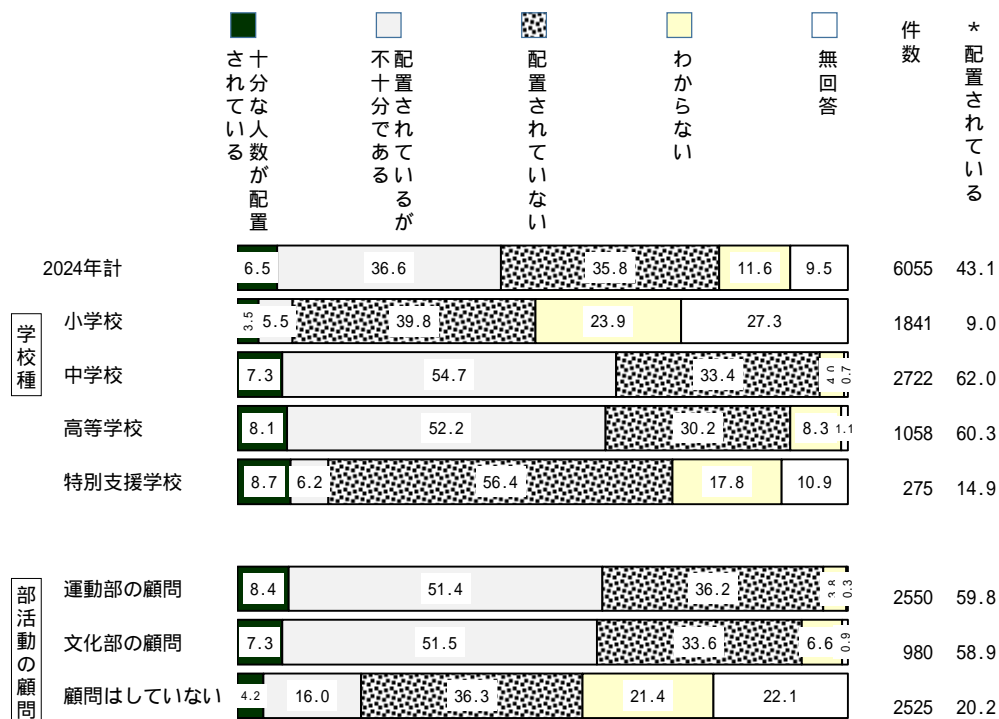
「十分な人数が配置されている」6.5%、「配置されているが、不十分である」36.6%で、両者を合わせた＜配置されている＞43.1%、「配置されていない」35.8%となっている。

学校種別として、大多数の教職員が顧問をしている中学校と高等学校をみると、「配置されているが、不十分である」は、中学校54.7%、高等学校52.2%、「十分な人数が配置されている」は、中学校7.3%、高等学校8.1%で、半数が配置は不十分ととらえている。

部活動の顧問別にみると、「十分な人が配置されている」は運動部顧問8.4%、文化部顧問7.3%、「配置されているが、不十分である」は運動部顧問51.4%、文化部顧問51.5%、「配置されていない」は運動部顧問36.2%、文化部顧問33.6%となっている。



第5-1図 部活指導員の配置（学校に部活動のある方）



## 2. 休日の部活動の地域移行の進捗状況（学校に部活動のある教職員）

・「一部移行している」(14.0%)を入れても<移行している>(16.2%)は2割に届かず、進捗状況は「わからない」という人が半数

学校に部活動のある教職員に、休日の部活動の地域移行の進捗状況について質問した（第5-2図）。

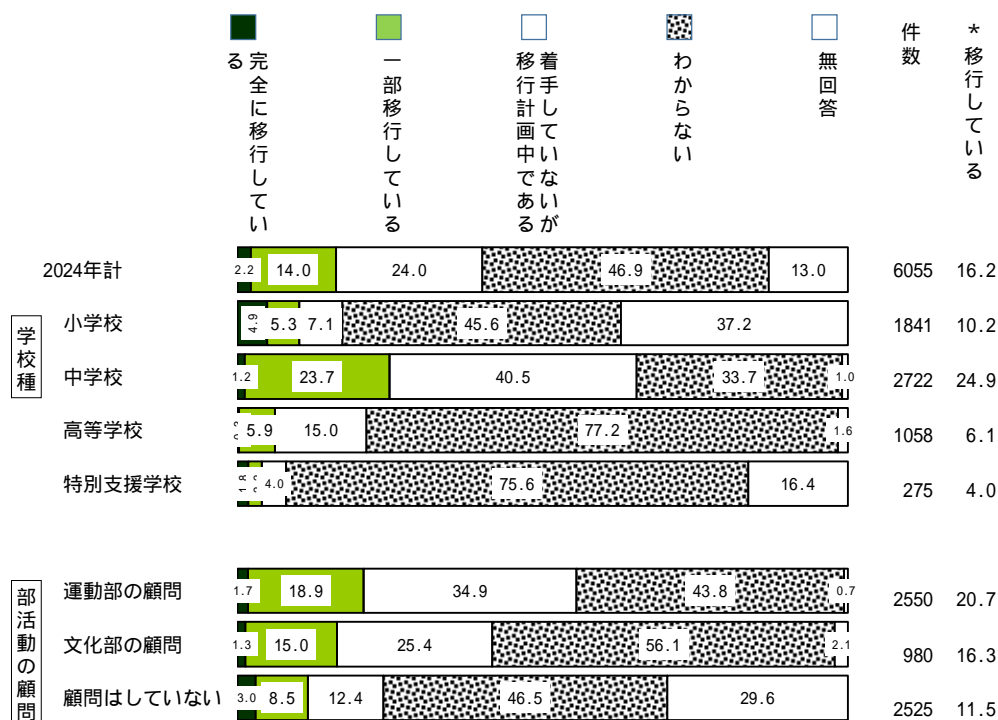
その結果、地域移行の進捗状況について半数近くが「わからない」(46.9%)だった。

進捗状況について認識している人についてみると、「完全に移行している」2.2%、「一部移行している」14.0%、両者を合わせた<移行している>は16.2%となった。「着手していないが、移行の計画中有である」は24.0%となっている。

大多数の教職員が顧問をしている中学校と高等学校をみると、両者とも「完全に移行している」は中学校1.2%、高等学校0.3%、「一部移行している」は中学校23.7%、高等学校5.9%、「移行の計画中有である」は中学校40.5%、高等学校15.0%、「わからない」は中学校33.7%、高等学校77.2%で、結果には違いが表れている。

これを部活動の顧問別にみると、「完全に移行している」は運動部顧問1.7%、文化部顧問1.3%、「一部移行している」もそれぞれ18.9%、15.0%、「移行の計画中有である」は34.9%、25.4%、「わからない」は43.8%、56.1%となっており、文化部活動の方が進捗は遅れている。

第5-2図 休日の部活動の地域移行の進捗状況（学校に部活動のある方）



### 3. 休日の部活動の地域移行への関わり方

- ・半数弱の中学校、高等学校教職員が「休日の部活動には関わりたくない」、
- ・関わっても「頼まれれば関わってもよい」が2割弱、  
「時々見に行きたい」、「ボランティアで」は少数
- ・「兼職兼業申請で積極的に関わりたい」人は中学校、高等学校で1割前後

休日の部活動が地域に移行されたら教職員はどのように関わりたいと思っているのだろうか（第5-1表）。

全体では3割が「以前から部活動に関わっていないので、今後も関わらない」である。学校に部活動が設定されていない人46.7%、顧問はしていない人31.4%となっている。

「休日の部活動には関わりたくない」は22.3%となっている。

「積極的には関わらないが、頼まれれば関わってもよい」は7.6%、「指導はしないが時々見に行きたい」3.6%、「ボランティアで指導に関わりたい」1.4%、「兼職兼業申請をして積極的に関わりたい」4.1%、「わからない」17.8%、無回答12.9%となっている。

部活動の顧問別にみると、学校に部活動が設定されていない人で多く、顧問をしていない人には、休日の部活動の地域移行について関心が低い結果となっている。

多くの教職員が部活動顧問をしている中学校では、「休日の部活動には関わりたくない」46.0%、「頼まれれば関わってもよい」16.2%、「指導はしないが時々見に行きたい」5.8%、

「ボランティアで指導に関わりたい」2.1%、「兼職兼業申請で積極的に関わりたい」9.7%となっている。

高等学校では「休日の部活動には関わりたくない」44.0%、「頼まれれば関わってもよい」17.4%、「指導はしないが時々見に行きたい」6.6%、「ボランティアで指導に関わりたい」2.2%、「兼職兼業申請で積極的に関わりたい」11.4%となっている。

第5-1表 休日の部活動の地域移行への希望する関わり方

	後 も 関 わ つ て お く な ら ず 今	休 日 の 部 活 動 に は	頼 ま れ ば 関 わ つ て よ い	時 々 見 に 行 き た い	指 導 に 関 わ り た い	ボ ラ ン テ ィ ア で 指 導 に 関 わ り た い	極 め た に 兼 職 兼 業 申 請 を し て 積 極 的 に 関 わ り た い	わ か ら な い	無 回 答	件 数
2024年計	30.4	22.3	7.6	3.6	1.4	4.1	17.8	12.9	11844	
学 校 種 別	小学校	41.8	10.3	2.8	2.1	1.0	1.1	22.0	18.8	7321
	中学校	10.8	46.0	16.2	5.8	2.1	9.7	8.6	0.9	2746
	高等学校	5.0	44.0	17.4	6.6	2.2	11.4	11.8	1.7	1062
	特別支援学校	27.2	19.8	9.8	5.3	1.6	2.7	20.9	12.7	489
部 活 動 の 顧 問	運動部の顧問	2.1	46.0	20.0	6.7	2.7	13.0	8.9	0.5	2550
	文化部の顧問	4.5	56.3	14.0	5.4	1.9	7.0	9.5	1.3	980
	顧問はしていない	31.4	15.1	3.3	3.2	0.8	0.8	21.4	24.0	2525
	学校に部活動は設定されていない	46.7	9.2	3.0	2.0	1.0	1.2	21.5	15.4	5789

下線数字は「2024年計」より5ポイント以上少ないことを示す  
 薄い網かけ数字は「2024年計」より5ポイント以上多いことを示す  
 濃い網かけ数字は「2024年計」より15ポイント以上多いことを示す  
 丸数字は比率の順位(第3位まで表示)

部活動の顧問別にみると、運動部顧問、文化部顧問の双方とも「休日の部活動には関わりたいくない」は運動部顧問 46.0%、文化部顧問 56.3%、「頼まれれば関わってもよい」は運動部顧問 20.0%、文化部顧問 14.0%、「指導はしないが時々見に行きたい」は運動部顧問 6.7%、文化部顧問 5.4%、「ボランティアで指導に関わりたい」は運動部顧問 2.7%、文化部顧問 1.9%、「兼職兼業申請で積極的に関わりたい」は運動部顧問 13.0%、文化部顧問 7.0%となっている。

週休日における部活動顧問の在校等時間の長さは、部活動の地域移行への関わり方どのような違いがあるのだろうか、この点をみていくことにする（第5-2表）。

週休日の在校等時間が0から2時間未満の運動部顧問では「休日の部活動には関わりたいくない」が50%を超え、文化部顧問では0から2時間以上でも50%を超えている。「兼職兼業申請で関わりたい」は運動部顧問では2時間以上12.7%、4時間以上15.6%、6時間以上19.7%、文化部顧問では4時間以上15.3%、6時間以上21.7%となっている。

第5-2表 休日の部活動の地域移行への希望する関わり方

		後 も わ ら な い ず 今	関 わ つ た ら な い に は	休 日 の 部 活 動 に は 関 わ り た い	頼 ま れ ば 関 わ り た い	時 々 見 に 行 き た い	指 導 は し な い が 時 々 見 に 行 き た い	ボ ラ ン テ ィ ア で 指 導 に 関 わ り た い	極 端 に 兼 職 兼 業 申 請 で 積 極 的 に 関 わ り た い	わ か ら な い	無 回 答	件 数
運動部顧問計		2.2	46.1	20.2	6.8	2.5	13.1	8.6	0.5	2282		
週 休 日 在 校 等 時 間	0時間	7.4	54.8	15.8	4.4	2.2	4.9	9.5	1.1	367		
	2時間未満	3.3	52.5	22.5	7.5	1.7	4.2	7.5	0.8	120		
	2時間以上	1.7	47.2	19.6	7.4	3.0	12.7	8.0	0.5	598		
	4時間以上	0.8	42.5	22.6	7.2	2.1	15.6	8.9	0.3	908		
	6時間以上	0.7	41.9	18.3	7.3	3.5	19.7	8.3	0.3	289		
文化部顧問計		4.3	56.0	14.0	5.1	1.8	7.9	9.7	1.3	838		
週 休 日 在 校 等 時 間	0時間	6.0	67.8	9.8	2.9	0.6	2.3	8.3	2.3	348		
	2時間未満	7.5	58.2	9.0	9.0	...	3.0	11.9	1.5	67		
	2時間以上	4.0	50.7	16.7	4.0	5.3	6.0	12.0	1.3	150		
	4時間以上	2.1	47.9	17.4	5.8	1.6	15.3	10.0	...	190		
	6時間以上	...	32.5	22.9	12.0	2.4	21.7	8.4	...	83		

下線数字は「運動部顧問計」より5ポイント以上少ないことを示す  
 薄い網かけ数字は「運動部顧問計」より5ポイント以上多いことを示す  
 濃い網かけ数字は「運動部顧問計」より15ポイント以上多いことを示す  
 丸数字は比率の順位(第3位まで表示)  
 件数30以下なら網掛等非表示

休日の部活動が長時間労働の要因の 1 つであることは、これまでの調査結果からも明確となっている。すすめられている休日の部活動の地域移行では、兼職兼業申請・許可によって教職員が部活に関われる環境が整えられているが、労働時間として計測されるものであり、現状の長時間労働と変わらない、さらにはより長時間労働となることはあってはならないことであり、慎重に取り扱われる必要がある。文部科学省通知（『学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について』を受けた公立学校の教師等の兼職兼業の取扱い等について）（2021.2.17 抜粋）においても、「各教育委員会が兼職兼業の許可を行う際には、教師の心身の健康を確保するため、いわゆる時間外労働と休日労働の合計時間が単月 100 時間未満、複数月平均 80 時間以内とならないことが見込まれる場合には、兼職兼業の許可を出さないことが適当である。」と明示されている。

また、給特法適用の公立学校教員の在校等時間は通算の時間計算の対象として扱い、在校等時間も含めた時間が単月 100 時間未満、複数月平均 80 時間以内とならないように確認・判断することが望ましいと通知されている。